

2024年11月21日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

家族愛に関する調査 2024

～自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.1点～

1位「大分県」81.5点、2位「愛知県」80.7点、3位「沖縄県」80.0点、最下位は「山形県」70.8点

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「家族愛に関する調査2024」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

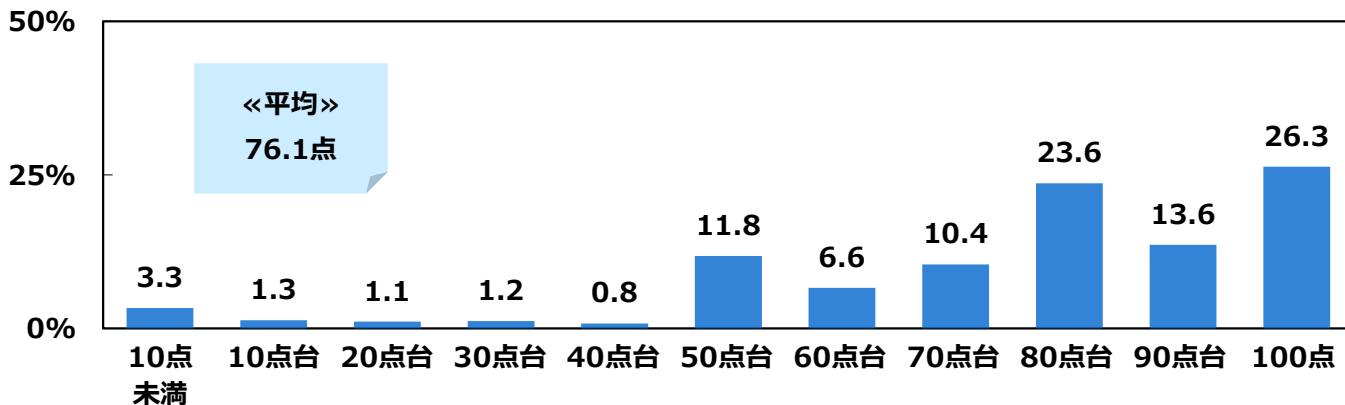
◆自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.1点

1位「大分県」81.5点、2位「愛知県」80.7点、3位「沖縄県」80.0点、最下位は「山形県」70.8点

自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が聞くと、「80点台」や「100点」に多くの回答が集まり、平均は76.1点。

都道府県別にみると、平均は1位「大分県」（81.5点）、2位「愛知県」（80.7点）、3位「沖縄県」（80.0点）、最下位は「山形県」（70.8点）でした。

Q. 自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点？



自身の家族愛の点数（平均点）

1位	大分県	81.5点	4位	鹿児島県	79.8点
			5位	山梨県	79.6点
			⋮	⋮	⋮
2位	愛知県	80.7点	43位	富山県	72.8点
			44位	新潟県	72.6点
			45位	岐阜県	71.7点
3位	沖縄県	80.0点	46位	秋田県	71.5点
			47位	山形県	70.8点

◆家族から言ってほしいセリフ 男女とも「ありがとう」がダントツ
 男性 2 位は「お疲れ様・ご苦労様」、女性 2 位は「好き・大好き」

家族から言ってほしいセリフを聞くと、「ありがとう」がダントツ。日頃の感謝の気持ちを言葉で伝えてほしいと思う人が多いようです。以降、2位「好き・大好き」、3位「お疲れ様・ご苦労様」、4位「愛してる」、5位「感謝しています」という結果に。
 男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」、男性2位は「お疲れ様・ご苦労様」、女性2位は「好き・大好き」でした。

Q. 家族から言ってほしいセリフは？

全体			男性			女性		
1位	ありがとう	1536名	1位	ありがとう	507名	1位	ありがとう	1029名
2位	好き・大好き	198名	2位	お疲れ様・ご苦労様	86名	2位	好き・大好き	127名
3位	お疲れ様・ご苦労様	114名	3位	好き・大好き	71名	3位	愛してる	42名
4位	愛してる	106名	4位	愛してる	64名	4位	ご飯がおいしい	38名
5位	感謝しています	47名	5位	感謝しています	26名	5位	頑張っているね	37名

◆家族愛が強いと思うスポーツ選手
 男性選手 1 位「大谷翔平さん」、女性選手 1 位「浜口京子さん」

“家族愛が強い”というイメージに合うスポーツ選手を聞くと、男性スポーツ選手では2024年2月に結婚を発表した「大谷翔平さん」がダントツとなり、2位「長友佑都さん」、3位「イチローさん」、女性スポーツ選手では1位「浜口京子さん」、2位「阿部詩さん」、3位「谷亮子さん」という結果に。

Q. 家族愛が強いと思うスポーツ選手は？

男性スポーツ選手			女性スポーツ選手		
1位	大谷翔平	714名	1位	浜口京子	177名
2位	長友佑都	184名	2位	阿部詩	126名
3位	イチロー	99名	3位	谷亮子	105名
4位	阿部一二三	93名	4位	北斗晶	90名
5位	ダルビッシュ有	41名	5位	古賀紗理那	82名

調査結果 index

◆家族観について

……p.6

- ・自分にとって“家族”とはどのような存在？ 「心の支えになる存在」が3年連続1位

◆家族関係について

……p.7~18

- ・「家族とグループLINEでやりとりをする」74%

グループLINEで話題にしていること 1位「帰宅時間」2位「自身・家族のスケジュール」

- ・「配偶者・パートナーとLINE（1：1トーク）でやりとりをする」84%、LINEで話題にしていること 1位「帰宅時間」

- ・「子どもとLINE（1：1トーク）でやりとりをする」61%、LINEで話題にしていること 1位「安否・居場所」

- ・家族では誰の意見が優先されることが多い？ 家族で見るテレビ番組を決めるときは「夫・男性パートナー」、家族で行く外食のお店を決めるとき、家族旅行の予定を決めるときは「話し合い・多数決で決めている」が1位に

- ・「家族に対する隠し事がある」21%

家族に隠していること 男性1位は「家計のこと」、女性1位は「自身の過去のこと」

- ・自身の家族を表す漢字 1位「愛」2位「楽」3位「和」4位「絆」5位「幸」

- ・自身が理想とする家族のイメージを表す漢字 1位「愛」2位「楽」3位「和」4位「幸」5位「絆」

- ・これまでに“家族がいて良かった”と感じたとき

1位「家族で団らんしているとき」2位「自分が体調を崩したとき」3位「一緒に食事をしているとき」

- ・ペットを飼っていて良かったと思うこと

1位「心が癒やされる時間が増えた」2位「家族のコミュニケーションが増えた」3位「ストレスが軽減された」

- ・自身にとって欠かせない家族の記念日 1位「配偶者・パートナーの誕生日」2位「子どもの誕生日」3位「結婚記念日」

- ・家族に対して本当は言いたいけれど、なかなか言えないセリフ

妻に「生まれ変わってもまた一緒になろう」「もう少し優しく接して」、

夫に「あなたと結婚して良かった」「人の話をちゃんと聞いて」、

子どもに「生まれてきてくれてありがとう」、親に「親父の子どもで良かった」など

- ・家族に対して本当は言いたくないけれど、つい言ってしまうセリフ

妻に「無駄遣いしないで」、夫に「家事をもう少しやってほしい」、子どもに「勉強しなさい」、親に「人の話聞いてる？」など

- ・家族から言ってほしいセリフ 男女とも1位は「ありがとう」、

男性2位は「お疲れ様・ご苦労様」、女性2位は「好き・大好き」

◆家族愛について

……p.19~23

- ・自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.1点

自己評価が高い都道府県 男性では1位「大分県」2位「山梨県」、女性では1位「沖縄県」2位「徳島県」

・自身が感じる“家族から自身への愛”を100点満点で評価すると？ 全体平均は73.3点

評価が高い都道府県 男性では1位「大分県」2位「山梨県」、女性では1位「鹿児島県」2位「神奈川県」

・家族愛を深めるために欠かせないと思うこと 1位「普段から会話する」2位「家族で団らん・食事する」

◆配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて

……p.24～28

・今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数 平均は24.7回

1位「長野県」43.5回、2位「群馬県」38.7回、3位「鹿児島県」38.3回

・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は6.6回/日

1位「岩手県」12.9回、2位「京都府」11.8回、3位「東京都」9.9回

・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数 平均は13.2回、1位は山梨県で25.1回

・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数 平均は7.3回/月、1位は岩手県で11.6回/月

・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの

男性TOP2は「愚痴が多い」「お金の無駄遣いをする」、女性TOP2は「スマホばかり見ている」「イビキがうるさい」

◆家庭における防災対策について

……p.29～30

・「災害発生時の連絡方法を家族で確認している」全体の48%、都道府県別の1位は東京都

・「災害発生時の自宅近くの避難場所を家族で確認している」全体の59%、都道府県別の1位は和歌山県

・「災害発生時の家族の行動範囲にある避難場所を家族で確認している」全体の49%、

都道府県別の1位は愛知県

・「防災用品の保管場所を家族で確認している」全体の49%、都道府県別の1位は東京都

◆子どもの名付けについて

……p.31～32

・子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人

40代以下では「妻・女性パートナー」、50代以上では「夫・男性パートナー」が1位

・「自身の名前に込められた想いを知っている」73%

自身の名前に込められた想いをどのくらい体現できている？ 自己評価は100点満点で平均70.1点

◆家族に届ける最後のメッセージについて

……p.33

・人生最後のメッセージを家族の誰か一人に届けたら？ 「ありがとう」がダントツ

夫に届ける言葉2位は「幸せでした」、妻に届ける言葉2位は「愛してる」

子どもに届ける言葉 男性2位は「頑張って」、女性2位は「生まれてきてくれてありがとう」

◆生まれ変わりについて

……p.34～35

・「生まれ変わっても同じ親元に生まれたい」66%

・「生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたい」男性の70%、女性の62%

- ・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人1位「ヒロミさん」、女性芸能人1位「辻希美さん」
- ・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手1位「大谷翔平さん」、女性選手1位「浜口京子さん」
- ・家族愛を感じる映画・ドラマ・小説・漫画 「ひとつ屋根の下」がダントツ、2位「海のはじまり」3位「サザエさん」
20代の1位は「コウノドリ」、30代の1位は「クレヨンしんちゃん」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆家族観について

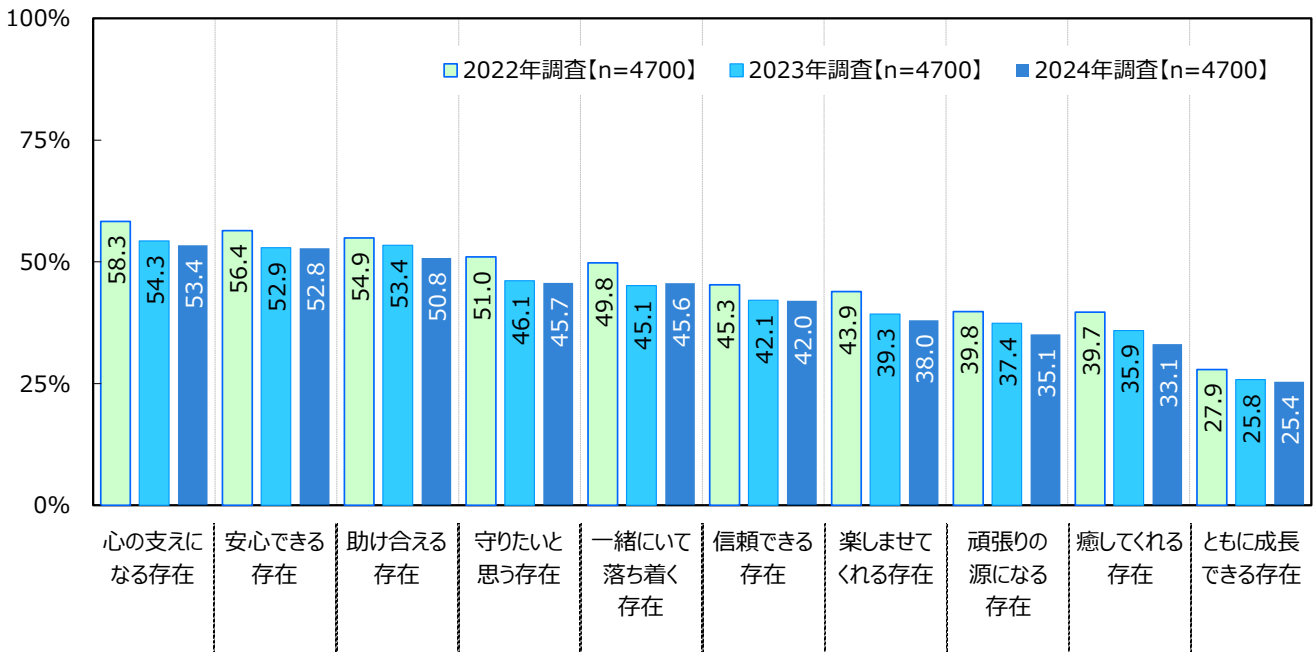
・自分にとって“家族”とはどのような存在？「心の支えになる存在」が3年連続1位

全国の20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（全回答者）に対し、家族観について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自分にとって“家族”とはどのような存在か聞いたところ、「心の支えになる存在」（53.4%）が最も高くなり、家族が心の拠りどころだと感じる人が多い結果となりました。次いで高くなったのは、「安心できる存在」（52.8%）、「助け合える存在」（50.8%）、「守りたいと思う存在」（45.7%）、「一緒にいて落ち着く存在」（45.6%）でした。

過去の調査結果と比較すると、「心の支えになる存在」は3年連続1位（2022年58.3%、2023年54.3%、2024年53.4%）でした。

◆自分にとって“家族”とはどのような存在か（複数回答形式） ※上位10位までを表示



※2022年調査：『家族愛に関する調査2022』（2022年12月14日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221214.pdf

※2023年調査：『家族愛に関する調査2023』（2023年11月20日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20231120.pdf

◆家族関係について

・「家族とグループLINEでやりとりをする」74%、

グループLINEで話題にしていること 1位「帰宅時間」2位「自身・家族のスケジュール」

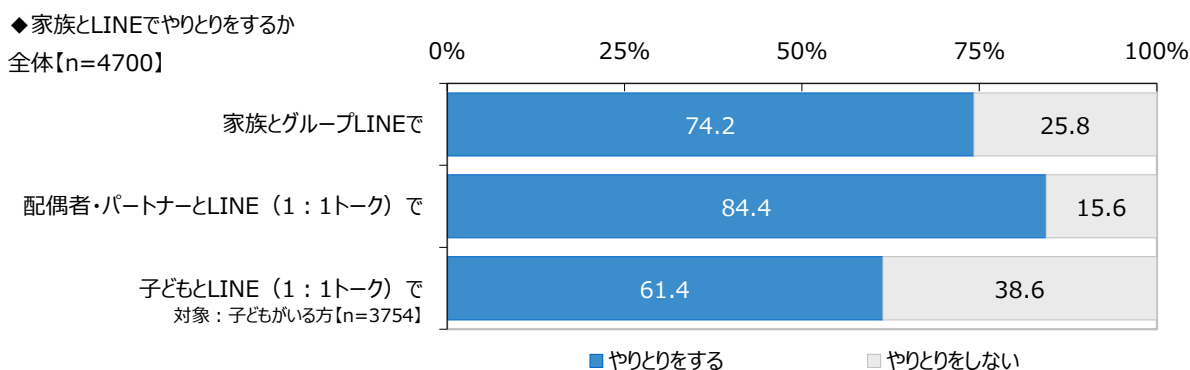
・「配偶者・パートナーとLINE（1：1トーク）でやりとりをする」84%、LINEで話題にしていること 1位「帰宅時間」

・「子どもとLINE（1：1トーク）でやりとりをする」61%、LINEで話題にしていること 1位「安否・居場所」

全回答者（4,700名）に、家族とのLINEのやりとりについて質問しました。

家族とグループLINEでやりとりをするか聞いたところ、「やりとりをする」は74.2%、「やりとりをしない」は25.8%となりました。LINEで家族用のグループを作って連絡を取り合っている人が多いようです。

配偶者・パートナーとLINE（1：1トーク）でやりとりをするか聞いたところ、「やりとりをする」は84.4%、「やりとりをしない」は15.6%となり、子どもがいる方（3,754名）に、子どもとLINE（1：1トーク）でやりとりをするか聞いたところ、「やりとりをする」は61.4%、「やりとりをしない」は38.6%となりました。



家族とLINEでやりとりをする方（家族のグループLINE：3,489名、配偶者・パートナーとのLINE：3,967名、子どもとのLINE：2,305名）に、やりとりをしているLINEではどのようなことを話題にしているか聞いたところ、【家族のグループLINE】と【配偶者・パートナーとのLINE】では「帰宅時間」（順に53.5%、63.4%）が最も高くなりました。夕食の準備などのため、何時に帰ってくるのかをLINEで確認している人がいるのではないのでしょうか。他方、【子どもとのLINE】では「安否・居場所」（43.5%）が最も高くなりました。次いで高くなったのは、【家族のグループLINE】と【配偶者・パートナーとのLINE】では「自身・家族のスケジュール」（45.5%、41.2%）、「安否・居場所」（42.3%、35.9%）、【子どもとのLINE】では「帰宅時間」（42.5%）、「待ち合わせの時間・場所」「自身・家族のスケジュール」（いずれも36.0%）でした。

◆家族のグループLINE／配偶者・パートナーとのLINE（1：1トーク）／子どもとのLINE（1：1トーク）ではどのようなことを話題としているか
（各複数回答形式） ※各上位10位までを表示

対象：家族のグループLINEで家族とやりとりをする方／LINE（1：1トーク）で配偶者・パートナーとやりとりをする方／LINE（1：1トーク）で子どもとやりとりをする方

家族のグループLINE 【n=3489】		配偶者・パートナーとのLINE 【n=3967】		子どもとのLINE 【n=2305】	
順位	話題	順位	話題	順位	話題
1位	帰宅時間	1位	帰宅時間	1位	安否・居場所
2位	自身・家族のスケジュール	2位	自身・家族のスケジュール	2位	帰宅時間
3位	安否・居場所	3位	安否・居場所	3位	待ち合わせの時間・場所
4位	待ち合わせの時間・場所	4位	待ち合わせの時間・場所	3位	自身・家族のスケジュール
5位	買い物	5位	買い物	5位	体調・健康
6位	晩ごはん	6位	晩ごはん	6位	晩ごはん
7位	趣味・レジャー	7位	家事	7位	趣味・レジャー
8位	体調・健康	8位	体調・健康	8位	買い物
9位	家事	9位	趣味・レジャー	9位	学校での出来事
10位	職場での出来事	10位	お金	10位	職場での出来事

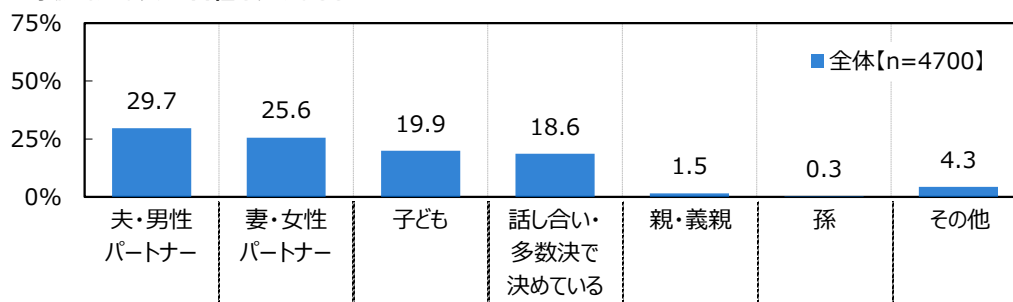
・家族では誰の意見が優先されることが多い？ 家族で見るテレビ番組を決めるときは「夫・男性パートナー」、家族で行く外食のお店を決めるとき、家族旅行の予定を決めるときは「話し合い・多数決で決めている」が 1 位に

家庭内で何かを決めるとき、誰の意見が優先されることが多いのでしょうか。

全回答者（4,700 名）に、家庭内のさまざまなシーンにおいて、家族では誰の意見が優先されることが多いか聞いたところ、「家族で見るテレビ番組を決めるとき」では「夫・男性パートナー」（29.7%）が最も高くなり、「妻・女性パートナー」（25.6%）、「子ども」（19.9%）、「話し合い・多数決で決めている」（18.6%）、「親・義親」（1.5%）、「孫」（0.3%）、「その他」（4.3%）が続きました。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか（単一回答形式）

「家族で見るテレビ番組を決めるとき」



都道府県別にみると、多くの都道府県で「夫・男性パートナー」が「妻・女性パートナー」が 1 位となり、福島県では「話し合い・多数決で決めている」が 1 位、愛知県では「夫・男性パートナー」と「話し合い・多数決で決めている」が同率 1 位でした。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか（単一回答形式） ※都道府県別の1位を表示

「家族で見るテレビ番組を決めるとき」

各都道府県【n=100】

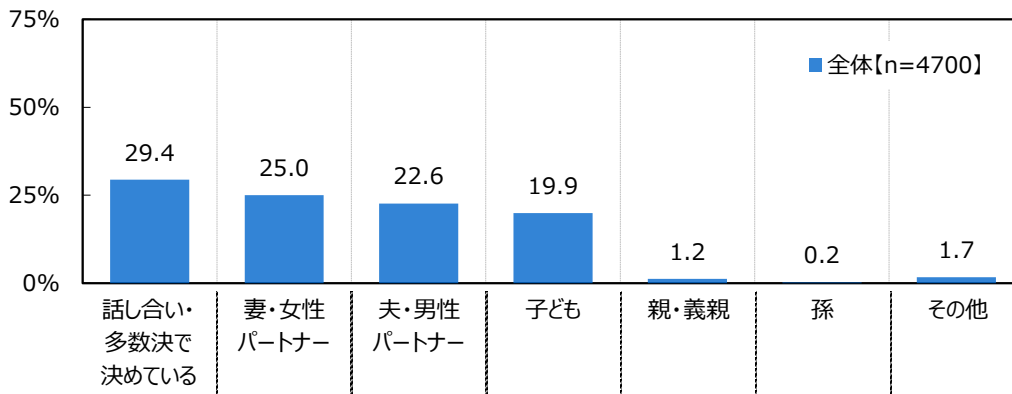
北海道	夫・男性パートナー
青森県	夫・男性パートナー
岩手県	妻・女性パートナー
宮城県	夫・男性パートナー
秋田県	妻・女性パートナー
山形県	夫・男性パートナー
福島県	話し合い・多数決で決めている
茨城県	夫・男性パートナー
栃木県	妻・女性パートナー
群馬県	夫・男性パートナー
埼玉県	妻・女性パートナー
千葉県	夫・男性パートナー
東京都	夫・男性パートナー
神奈川県	妻・女性パートナー
新潟県	夫・男性パートナー
富山県	妻・女性パートナー
石川県	夫・男性パートナー
福井県	夫・男性パートナー
山梨県	夫・男性パートナー
長野県	夫・男性パートナー
岐阜県	夫・男性パートナー
静岡県	妻・女性パートナー
愛知県	夫・男性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
三重県	夫・男性パートナー

滋賀県	妻・女性パートナー
京都府	夫・男性パートナー
大阪府	夫・男性パートナー
兵庫県	夫・男性パートナー
奈良県	夫・男性パートナー
和歌山県	夫・男性パートナー
鳥取県	夫・男性パートナー
島根県	妻・女性パートナー
岡山県	妻・女性パートナー
広島県	夫・男性パートナー
山口県	妻・女性パートナー
徳島県	夫・男性パートナー / 妻・女性パートナー
香川県	夫・男性パートナー
愛媛県	夫・男性パートナー
高知県	妻・女性パートナー
福岡県	夫・男性パートナー
佐賀県	妻・女性パートナー
長崎県	夫・男性パートナー
熊本県	妻・女性パートナー
大分県	夫・男性パートナー / 妻・女性パートナー
宮崎県	夫・男性パートナー
鹿児島県	夫・男性パートナー
沖縄県	夫・男性パートナー

「家族で行く外食のお店を決めるとき」では「話し合い・多数決で決めている」(29.4%)が最も高くなりました。家族みんなで相談して、民主的な決め方でお店を選んでいるという家庭が多いようです。次いで高くなったのは、「妻・女性パートナー」(25.0%)、「夫・男性パートナー」(22.6%)、「子ども」(19.9%)、「親・義親」(1.2%)、「孫」(0.2%)、「その他」(1.7%)でした。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか (単一回答形式)

「家族で行く外食のお店を決めるとき」



都道府県別にみると、多くの都道府県で「話し合い・多数決で決めている」が1位となり、秋田県、東京都、奈良県、岡山県、徳島県、香川県、宮崎県では「夫・男性パートナー」が1位、青森県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県、富山県、滋賀県、大阪府、島根県、広島県、福岡県、熊本県では「妻・女性パートナー」が1位(群馬県、新潟県、熊本県は「話し合い・多数決で決めている」と同率)、岩手県、佐賀県、沖縄県では「子ども」が1位(岩手県、沖縄県は「話し合い・多数決で決めている」と同率)でした。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか (単一回答形式) ※都道府県別の1位を表示

「家族で行く外食のお店を決めるとき」

各都道府県【n=100】

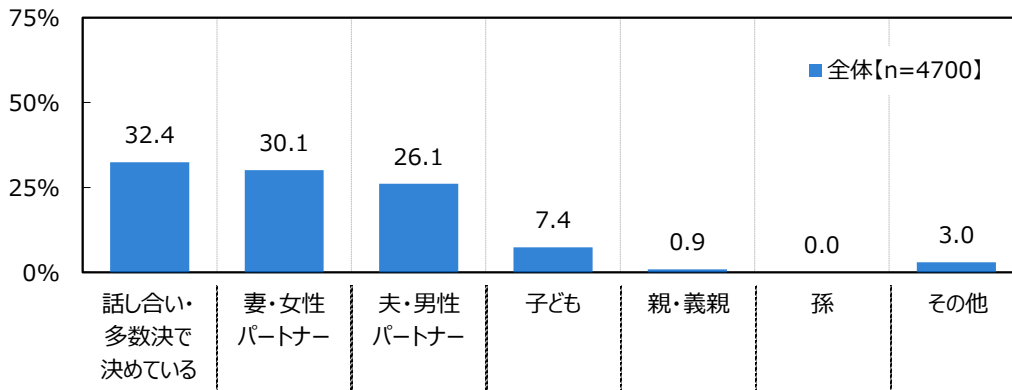
北海道	話し合い・多数決で決めている
青森県	妻・女性パートナー
岩手県	子ども / 話し合い・多数決で決めている
宮城県	話し合い・多数決で決めている
秋田県	夫・男性パートナー
山形県	話し合い・多数決で決めている
福島県	話し合い・多数決で決めている
茨城県	話し合い・多数決で決めている
栃木県	話し合い・多数決で決めている
群馬県	妻・女性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
埼玉県	妻・女性パートナー
千葉県	話し合い・多数決で決めている
東京都	夫・男性パートナー
神奈川県	妻・女性パートナー
新潟県	妻・女性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
富山県	妻・女性パートナー
石川県	話し合い・多数決で決めている
福井県	話し合い・多数決で決めている
山梨県	話し合い・多数決で決めている
長野県	話し合い・多数決で決めている
岐阜県	話し合い・多数決で決めている
静岡県	話し合い・多数決で決めている
愛知県	話し合い・多数決で決めている
三重県	話し合い・多数決で決めている

滋賀県	妻・女性パートナー
京都府	話し合い・多数決で決めている
大阪府	妻・女性パートナー
兵庫県	話し合い・多数決で決めている
奈良県	夫・男性パートナー
和歌山県	話し合い・多数決で決めている
鳥取県	話し合い・多数決で決めている
島根県	妻・女性パートナー
岡山県	夫・男性パートナー
広島県	妻・女性パートナー
山口県	話し合い・多数決で決めている
徳島県	夫・男性パートナー
香川県	夫・男性パートナー
愛媛県	話し合い・多数決で決めている
高知県	話し合い・多数決で決めている
福岡県	妻・女性パートナー
佐賀県	子ども
長崎県	話し合い・多数決で決めている
熊本県	妻・女性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
大分県	話し合い・多数決で決めている
宮崎県	夫・男性パートナー
鹿児島県	話し合い・多数決で決めている
沖縄県	子ども / 話し合い・多数決で決めている

「家族旅行の予定を決めるとき」では「話し合い・多数決で決めている」（32.4%）が最も高くなり、「妻・女性パートナー」（30.1%）、「夫・男性パートナー」（26.1%）、「子ども」（7.4%）、「親・義親」（0.9%）、「孫」（0.0%）、「その他」（3.0%）が続きました。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか（単一回答形式）

「家族旅行の予定を決めるとき」



都道府県別にみると、多くの都道府県で「話し合い・多数決で決めている」や「妻・女性パートナー」が1位となりました。埼玉県、東京都、三重県、岡山県、香川県、愛媛県では「夫・男性パートナー」が1位（岡山県、愛媛県は「話し合い・多数決で決めている」と同率、埼玉県、香川県は「妻・女性パートナー」と同率）でした。

◆家族では誰の意見が優先されることが多いか（単一回答形式） ※都道府県別の1位を表示

「家族旅行の予定を決めるとき」

各都道府県【n=100】

北海道	話し合い・多数決で決めている
青森県	妻・女性パートナー
岩手県	妻・女性パートナー
宮城県	話し合い・多数決で決めている
秋田県	妻・女性パートナー
山形県	妻・女性パートナー
福島県	話し合い・多数決で決めている
茨城県	話し合い・多数決で決めている
栃木県	話し合い・多数決で決めている
群馬県	話し合い・多数決で決めている
埼玉県	夫・男性パートナー / 妻・女性パートナー
千葉県	話し合い・多数決で決めている
東京都	夫・男性パートナー
神奈川県	妻・女性パートナー
新潟県	妻・女性パートナー
富山県	話し合い・多数決で決めている
石川県	話し合い・多数決で決めている
福井県	話し合い・多数決で決めている
山梨県	話し合い・多数決で決めている
長野県	話し合い・多数決で決めている
岐阜県	話し合い・多数決で決めている
静岡県	妻・女性パートナー
愛知県	妻・女性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
三重県	夫・男性パートナー

滋賀県	妻・女性パートナー
京都府	話し合い・多数決で決めている
大阪府	妻・女性パートナー
兵庫県	話し合い・多数決で決めている
奈良県	妻・女性パートナー
和歌山県	話し合い・多数決で決めている
鳥取県	話し合い・多数決で決めている
島根県	妻・女性パートナー
岡山県	夫・男性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
広島県	妻・女性パートナー
山口県	話し合い・多数決で決めている
徳島県	妻・女性パートナー
香川県	夫・男性パートナー / 妻・女性パートナー
愛媛県	夫・男性パートナー / 話し合い・多数決で決めている
高知県	話し合い・多数決で決めている
福岡県	妻・女性パートナー
佐賀県	妻・女性パートナー
長崎県	話し合い・多数決で決めている
熊本県	話し合い・多数決で決めている
大分県	話し合い・多数決で決めている
宮崎県	妻・女性パートナー
鹿児島県	話し合い・多数決で決めている
沖縄県	話し合い・多数決で決めている

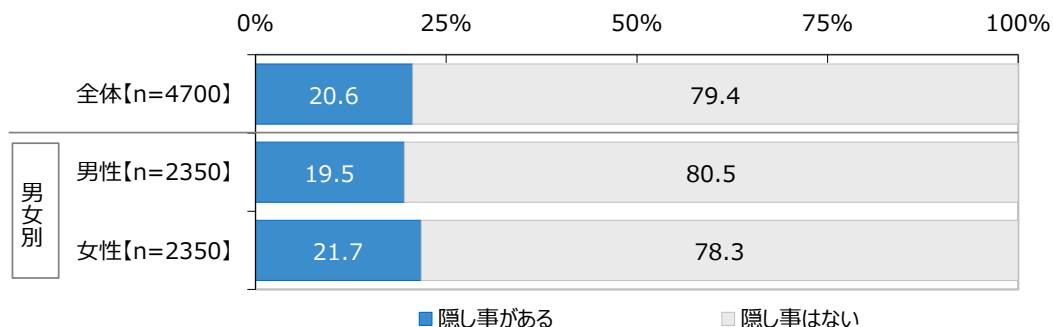
・「家族に対する隠し事がある」21%

家族に隠していること 男性 1 位は「家計のこと」、女性 1 位は「自身の過去のこと」

家族への隠し事について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、家族に対する隠し事があるか聞いたところ、「隠し事がある」は 20.6%、「隠し事はない」は 79.4%となりました。家族には何でも包み隠さず伝えている人が多いようです。

◆家族に対する隠し事があるか



家族に対する隠し事がある方（969 名）に、家族に隠していることを聞いたところ、1 位「自身の過去のこと」（33.0%）、2 位「家計のこと」（31.3%）、3 位「趣味のこと」（20.2%）、4 位「恋愛のこと」（15.3%）、5 位「仕事のこと」（14.1%）となりました。

男女別にみると、男性 1 位は「家計のこと」（27.9%）、女性 1 位は「自身の過去のこと」（40.3%）でした。

隠し事の内容をみると、男性 1 位の「家計のこと」では「へそくりがある」や「預金残高」、女性 1 位の「自身の過去のこと」では「学生時代の黒歴史」や「詐欺にあった」といった回答が挙げられました。

◆家族に隠していること（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：家族に対する隠し事がある方

	全体 [n=969]	%
1位	自身の過去のこと	33.0
2位	家計のこと	31.3
3位	趣味のこと	20.2
4位	恋愛のこと	15.3
5位	仕事のこと	14.1
6位	病気のこと	8.2
7位	親・義親のこと	6.5
8位	友人のこと	4.7
9位	子どものこと	3.9
10位	家事のこと	3.3

性別	順位	内容	%
男性 [n=458]	1位	家計のこと	27.9
	2位	趣味のこと	26.9
	3位	自身の過去のこと	24.9
	4位	仕事のこと	21.0
	5位	恋愛のこと	17.9
	6位	病気のこと	8.1
	7位	親・義親のこと	4.4
	8位	友人のこと	3.9
	9位	子どものこと	3.3
	10位	家事のこと	2.6
女性 [n=511]	1位	自身の過去のこと	40.3
	2位	家計のこと	34.2
	3位	趣味のこと	14.3
	4位	恋愛のこと	12.9
	5位	親・義親のこと	8.4
	6位	病気のこと	8.2
	7位	仕事のこと	8.0
	8位	友人のこと	5.5
	9位	子どものこと	4.5
	10位	家事のこと	3.9

・自身の家族を表す漢字 1位「愛」2位「楽」3位「和」4位「絆」5位「幸」

・自身が理想とする家族のイメージを表す漢字 1位「愛」2位「楽」3位「和」4位「幸」5位「絆」

全回答者（4,700名）に、自身の家族を表す漢字（1文字）を聞いたところ、1位「愛」（787名）、2位「楽」（530名）、3位「和」（365名）、4位「絆」（223名）、5位「幸」（140名）となりました。自身の家族に対し、愛情や楽しさ、和やかさ、絆、幸せといった、ポジティブなイメージを持っている人が多いのではないのでしょうか。また、10位圏外には、「賑」（25位）や「騒」（29位）、「忍」（31位）、「穏」（34位）、「変」（35位）といった漢字もみられました。

男女別にみると、男女とも1位は「愛」（男性427名、女性360名）、2位は「楽」（男性215名、女性315名）、3位は「和」（男性197名、女性168名）となりました。男性5位の「家」は女性では10位圏外（13位）、女性10位の「個」は男性では10位圏外（20位）でした。

◆自身の家族を表す漢字（1文字）（自由回答形式）

※上位10位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
順位	漢字	名	順位	漢字	名	順位	漢字	名
1位	愛	787	1位	愛	427	1位	愛	360
2位	楽	530	2位	楽	215	2位	楽	315
3位	和	365	3位	和	197	3位	和	168
4位	絆	223	4位	絆	142	4位	絆	81
5位	幸	140	5位	家	84	5位	幸	79
6位	安	136	6位	安	64	6位	癒	79
7位	癒	135	7位	幸	61	7位	安	72
8位	信	126	8位	信	59	8位	笑	71
9位	笑	118	9位	癒	56	9位	信	67
10位	家	116	10位	笑	47	10位	個	40

自身が理想とする家族のイメージを表す漢字（1文字）を聞いたところ、1位は「愛」（913名）となりました。愛に満ちた家族関係を理想的と考える人が多いようです。以降、2位「楽」（493名）、3位「和」（427名）、4位「幸」（274名）、5位「絆」（223名）と続きました。

男女別にみると、男女とも1位「愛」（男性476名、女性437名）、2位「楽」（男性221名、女性272名）、3位「和」（男性202名、女性225名）となりました。

◆自身が理想とする家族のイメージを表す漢字（1文字）（自由回答形式）

※上位10位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
順位	漢字	名	順位	漢字	名	順位	漢字	名
1位	愛	913	1位	愛	476	1位	愛	437
2位	楽	493	2位	楽	221	2位	楽	272
3位	和	427	3位	和	202	3位	和	225
4位	幸	274	4位	絆	124	4位	幸	168
5位	絆	223	5位	幸	106	5位	癒	114
6位	笑	174	6位	安	76	6位	笑	101
7位	癒	167	7位	笑	73	7位	絆	99
8位	安	158	8位	信	59	8位	安	82
9位	信	128	9位	癒	53	9位	暖	72
10位	暖	121	10位	暖	49	10位	信	69

・これまでに“家族がいて良かった”と感じたとき

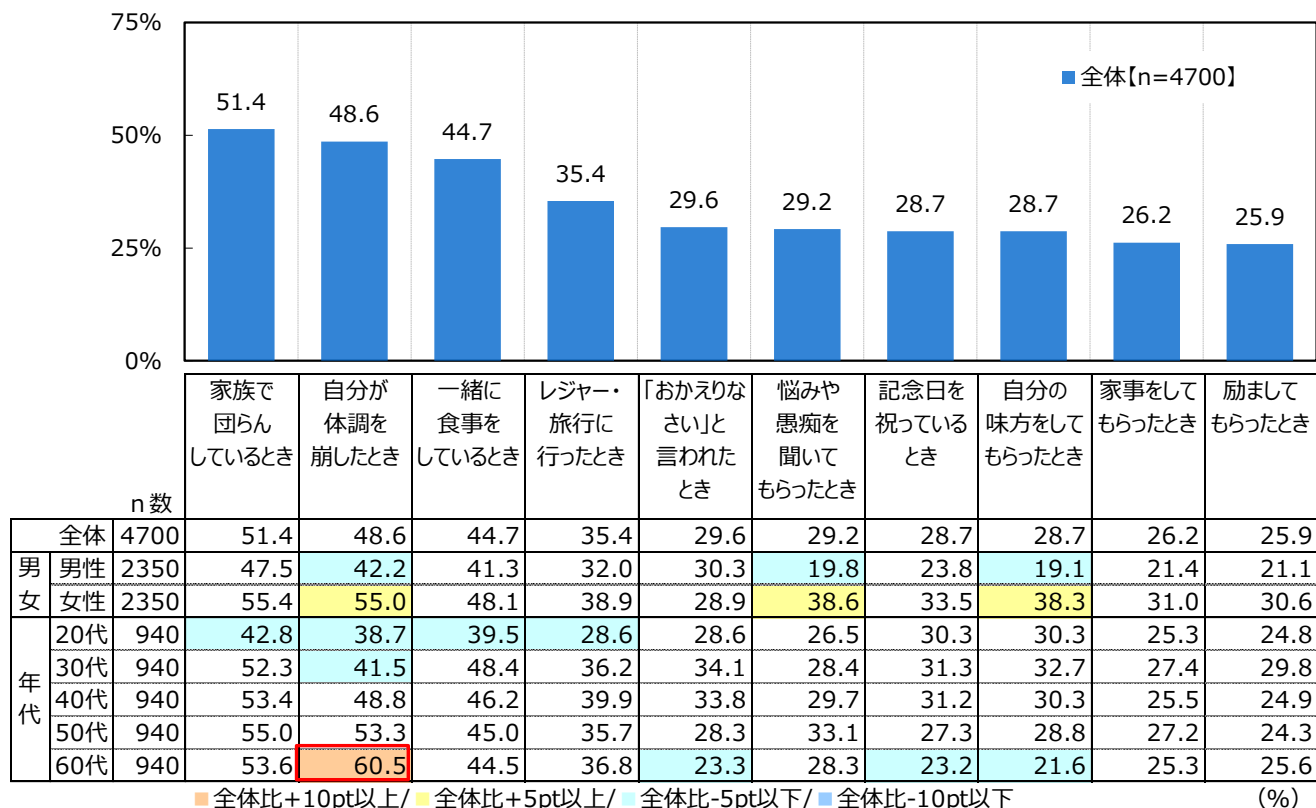
1位「家族で団らんしているとき」2位「自分が体調を崩したとき」3位「一緒に食事をしているとき」

全回答者（4,700名）に、これまでに、“家族がいて良かった”と感じたのはどのようなときか聞いたところ、「家族で団らんしているとき」（51.4%）が最も高くなりました。家族揃って同じ空間で同じ時間を和やかに過ごしているときに、家族がいることの尊さを実感した経験があるという人が多いようです。次いで高くなったのは、「自分が体調を崩したとき」（48.6%）、「一緒に食事をしているとき」（44.7%）、「レジャー・旅行に行ったとき」（35.4%）、「『おかえりなさい』と言われたとき」（29.6%）でした。

男女別にみると、「悩みや愚痴を聞いてもらったとき」（男性 19.8%、女性 38.6%）や「自分の味方をしてもらったとき」（男性 19.1%、女性 38.3%）は男性と比べて女性のほうが15ポイント以上高くなりました。女性には、頼りにできる存在として家族が身近にいることに対し安心感を抱く人が多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、60代では「自分が体調を崩したとき」（60.5%）が最も高くなりました。

◆これまでに、“家族がいて良かった”と感じたとき（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・ペットを飼っていて良かったと思うこと

1 位「心が癒やされる時間が増えた」2 位「家族のコミュニケーションが増えた」3 位「ストレスが軽減された」

犬や猫などのペットを家族の一員としている人は多いと思います。

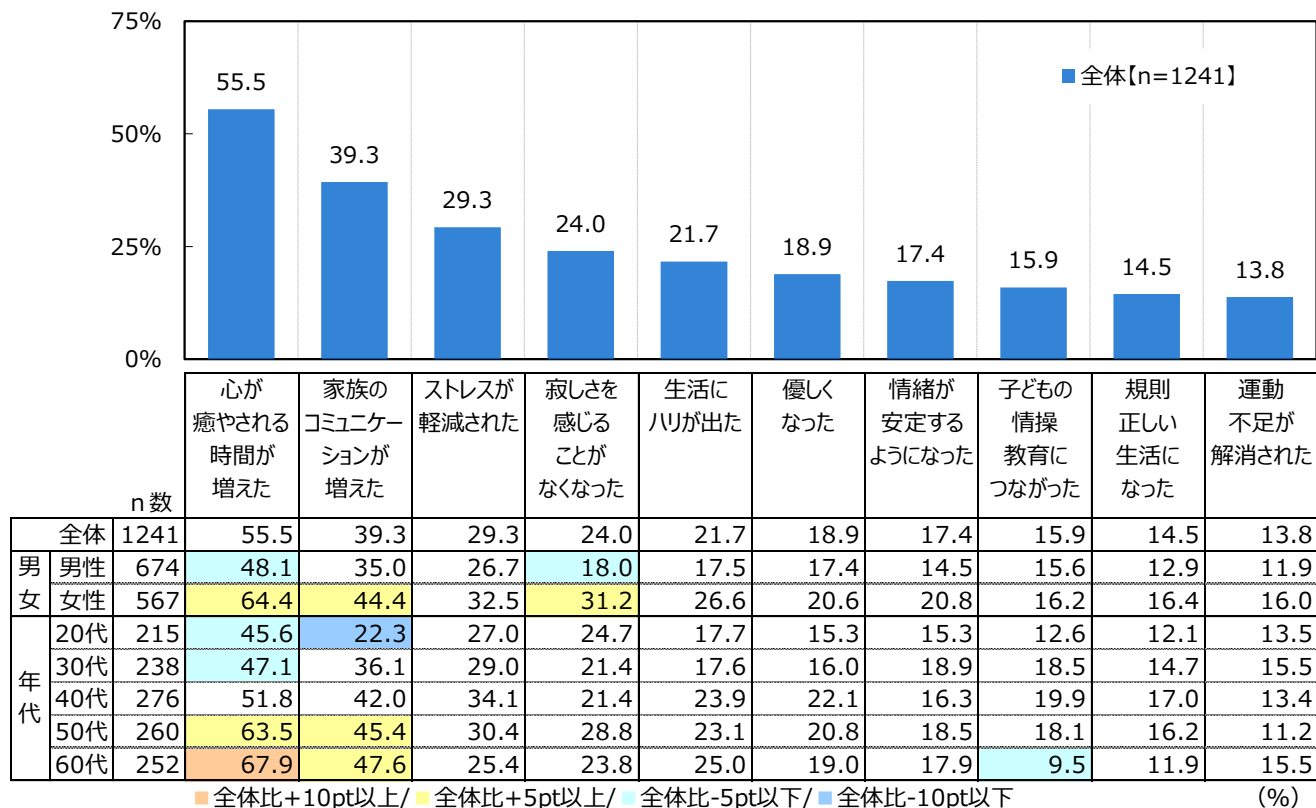
そこで、ペットを飼っている方（1,241 名）に、ペットを飼っていて良かったと思うことを聞いたところ、「心が癒やされる時間が増えた」（55.5%）が最も高くなりました。ペットがそばにすることで、心身がリラックスするようになったと感じている人が多いようです。次いで高くなったのは、「家族のコミュニケーションが増えた」（39.3%）でした。ペットがいることで、自身に良い影響があらわれるだけでなく、たとえば人間同士だとギスギスしてしまうようなときでもペットが仲を取り持つなど家族全体に対しても良い影響があらわれたケースがあるのではないのでしょうか。以降、「ストレスが軽減された」（29.3%）、「寂しさを感じる事がなくなった」（24.0%）、「生活にハリが出た」（21.7%）が続きました。

男女別にみると、「心が癒やされる時間が増えた」（男性 48.1%、女性 64.4%）や「寂しさを感じる事がなくなった」（男性 18.0%、女性 31.2%）は男性と比べて女性のほうが 10 ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、「心が癒やされる時間が増えた」と「家族のコミュニケーションが増えた」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、60 代では「心が癒やされる時間が増えた」が 67.9%、「家族のコミュニケーションが増えた」が 47.6%となりました。

◆ペットを飼っていて良かったと思うこと（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：ペットを飼っている方



・自身にとって欠かせない家族の記念日 1位「配偶者・パートナーの誕生日」2位「子どもの誕生日」3位「結婚記念日」

家族の記念日について質問しました。

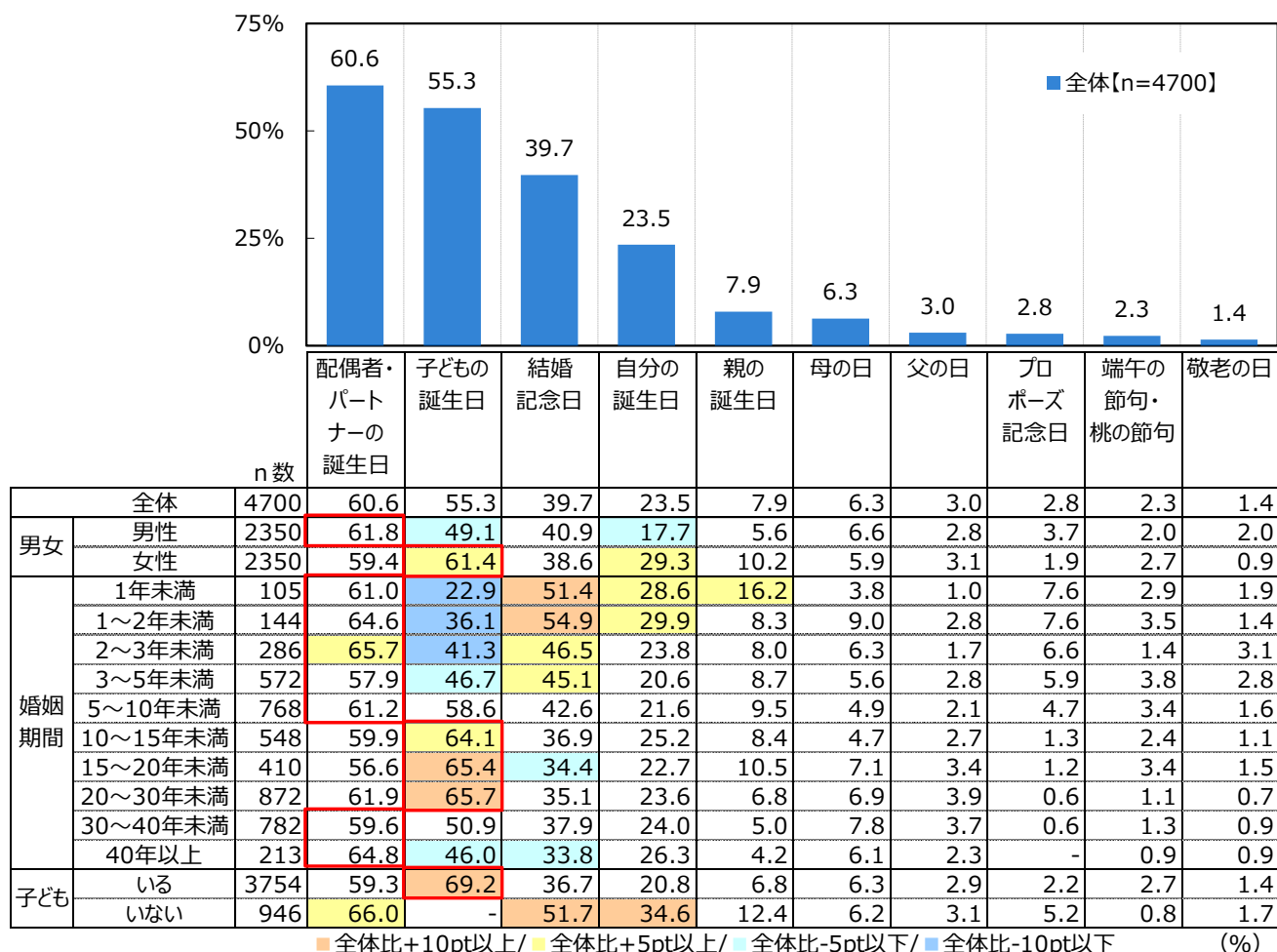
全回答者（4,700名）に、自身にとって欠かせない家族の記念日を聞いたところ、「配偶者・パートナーの誕生日」（60.6%）が最も高くなり、「子どもの誕生日」（55.3%）が続きました。愛する配偶者・パートナーや子どもの誕生日は忘れずに大切にしていきたいと思う人が多いようです。次いで高くなったのは、「結婚記念日」（39.7%）、「自分の誕生日」（23.5%）、「親の誕生日」（7.9%）でした。

男女別にみると、男性では「配偶者・パートナーの誕生日」（61.8%）、女性では「子どもの誕生日」（61.4%）が最も高くなりました。

婚姻期間別にみると、婚姻期間が10年以上30年未満の層では「子どもの誕生日」、婚姻期間が10年未満の層と30年以上の層では「配偶者・パートナーの誕生日」が最も高くなりました。

子どもがいる方（3,754名）についてみると、「子どもの誕生日」（69.2%）が最も高くなりました。

◆自身にとって欠かせない家族の記念日（制限回答形式：3つまで） ※上位10位までを表示



・家族に対して本当は言いたいけれど、なかなか言えないセリフ

妻に「生まれ変わってもまた一緒になろう」「もう少し優しく接して」、
夫に「あなたと結婚して良かった」「人の話をちゃんと聞いて」、
子どもに「生まれてきてくれてありがとう」、親に「親父の子どもで良かった」など

家族に伝える言葉について質問しました。

まず、全回答者（4,700名）に、家族に対して本当は言いたいけれど、なかなか言えないセリフを聞きました。

<配偶者・パートナー>に対するセリフをみると、男性回答では「いつもありがとう。愛してます」や「生まれ変わってもまた一緒になろう」、「いつも家事をテキパキやってくれてありがとう」、「もう少し優しく接して」、「お小遣いを上げてください」、女性回答では「いつもありがとう。大好きです」や「家族のために一生懸命に働いてくれてありがとう」、「あなたと結婚して良かった」、「自分のことは自分でしてください」、「人の話をちゃんと聞いて」といった回答が挙げられました。パートナーへの日頃のお礼や愛の言葉、要望などをなかなか伝えられない人が多いようです。

<子ども>に対するセリフでは「生まれてきてくれてありがとう」といった感謝の言葉、「本当によく頑張っているね」や「俺の誇りだ」といった褒め言葉、「もう少し人生考えて」といった苦言が挙げられました。

<親>に対するセリフでは「産んでくれて育ててくれてありがとう」や「親父の子どもで良かった」、「頑固なところを直してほしい」といったセリフが挙げられました。

◆家族に対して本当は言いたいけれど、なかなか言えないセリフ（自由回答形式） ※抜粋して表示
全体【n=4700】

<配偶者・パートナーに対するセリフ>

■男性回答

いつもありがとう。愛してます（40代男性・新潟県）
生まれ変わってもまた一緒になろう（40代男性・静岡県）
いつも家事をテキパキやってくれてありがとう（30代男性・佐賀県）
美味しい料理ごちそうさまです（60代男性・福島県）
いつも負担かけてごめんね（40代男性・長崎県）
もっと部屋をきれいにして（30代男性・愛知県）
もう少し優しく接して（60代男性・鹿児島県）
お小遣いを上げてください（40代男性・福島県）

■女性回答

いつもありがとう。大好きです（30代女性・石川県）
家族のために一生懸命に働いてくれてありがとう（60代女性・長崎県）
あなたと結婚して良かった（60代女性・沖縄県）
いつも怒ってばかりでごめん（30代女性・新潟県）
もっと家事、育児をしてほしい（20代女性・千葉県）
自分のことは自分でしてください（60代女性・佐賀県）
私のことどう思ってる？（30代女性・香川県）
人の話をちゃんと聞いて（40代女性・徳島県）

<子どもに対するセリフ>

生まれてきてくれてありがとう（50代女性・熊本県）
世界で一番大切だよ（50代女性・秋田県）
厳しくしているけれど頑張って（50代女性・沖縄県）
本当によく頑張っているね（50代男性・静岡県）
俺の誇りだ（30代男性・埼玉県）
幸せになれ（60代男性・東京都）
いつまでゲームしてんねん（40代男性・京都府）
いい加減自立しなさい（60代女性・宮崎県）
もう少し人生考えて（50代男性・青森県）
たまには帰ってこい（60代男性・愛媛県）

<親に対するセリフ>

産んでくれて育ててくれてありがとう（40代女性・福島県）
たくさんの愛情を注いでくれてありがとう（30代女性・鹿児島県）
親父の子どもで良かった（50代男性・埼玉県）
体に気をつけて長生きしてください（40代女性・愛知県）
心配しなくていいよ（20代女性・愛知県）
喧嘩はしないで（30代男性・沖縄県）
頑固なところを直してほしい（20代男性・福井県）

・家族に対して本当は言いたくないけれど、つい言ってしまうセリフ

妻に「無駄遣いしないで」、夫に「家事をもう少しやってほしい」、子どもに「勉強しなさい」、親に「人の話聞いている？」など

反対に、家族に対して本当は言いたくないけれど、つい言ってしまうセリフを聞きました。

<配偶者・パートナー> に対するセリフをみると、男性回答では「うるさいなあ」や「無駄遣いしないで」、「もう少し急いで」、女性回答では「飲み過ぎじゃない？」や「家事をもう少しやってほしい」、「早く帰ってきて」といったセリフが挙げられました。ストレートに伝えると相手の気分を害すると理解しながらも、思わず発言してしまうケースがあるのではないのでしょうか。

<子ども> に対するセリフでは「部屋を片付けて」や「早く起きなさい」、「勉強しなさい」といった小言や、「何でできないの？」や「いい加減にしなさい」といった感情的に発してしまうセリフが挙げられました。

<親> に対するセリフでは「人の話聞いている？」や「その話、何度も聞いた」といったコミュニケーションに関するセリフが挙げられました。

◆家族に対して本当は言いたくないけれど、つい言ってしまうセリフ（自由回答形式） ※抜粋して表示
全体【n=4700】

<配偶者・パートナーに対するセリフ>

■男性回答

うるさいなあ（40代男性・山形県）
何度も言ったでしょ（60代男性・千葉県）
料理の味付けがいまいち（50代男性・茨城県）
ご飯作ってある？（40代男性・茨城県）
無駄遣いしないで（50代男性・徳島県）
もう少し急いで（60代男性・佐賀県）

■女性回答

出しっぱなし！早く片付けて！（40代女性・群馬県）
電気がつけばなしだったよ（40代女性・宮崎県）
飲み過ぎじゃない？（60代女性・鹿児島県）
好き勝手にできていいね（20代女性・香川県）
家事をもう少しやってほしい（60代女性・大分県）
早く帰ってきて（50代女性・奈良県）

<子どもに対するセリフ>

時間だから早くして（30代女性・沖縄県）
部屋を片付けて（60代女性・沖縄県）
もっとしっかりしなさいよ（50代女性・岩手県）
早く起きなさい（50代女性・熊本県）
勉強しなさい（50代男性・福岡県）
親の言うことを聞きなさい（40代男性・群馬県）
お兄ちゃんでしょ（20代女性・山形県）
何でできないの？（30代女性・三重県）
いい加減にしなさい（30代男性・長野県）

<親に対するセリフ>

人の話聞いている？（50代女性・秋田県）
しつこいよ（30代女性・山形県）
干渉しないで（30代女性・鹿児島県）
その話、何度も聞いた（50代女性・大阪府）

**・家族から言ってほしいセリフ 男女とも 1位は「ありがとう」、
男性 2位は「お疲れ様・ご苦労様」、女性 2位は「好き・大好き」**

家族からどのような言葉を聞きたい人が多いのでしょうか。

全回答者（4,700名）に、家族から言ってほしいセリフを聞いたところ、「ありがとう」（1,536名）がダントツとなりました。日頃の感謝の気持ちを言葉で伝えてほしいと思う人が多いようです。以降、2位「好き・大好き」（198名）、3位「お疲れ様・ご苦労様」（114名）、4位「愛してる」（106名）、5位「感謝しています」（47名）と続きました。

男女別にみると、男性では1位の「ありがとう」（507名）に続き、2位は「お疲れ様・ご苦労様」（86名）となりました。ねぎらいの言葉をかけられると、疲れや苦勞が吹き飛ぶと感じる人が多いのではないのでしょうか。

女性では「ありがとう」（1,029名）がダントツでした。男性は普段の生活で“ありがとう”と感謝の言葉を進んで使うようにすると、家族との関係や家庭環境が良くなるのではないのでしょうか。次いで、2位は「好き・大好き」（127名）、3位は「愛してる」（42名）となりました。

◆家族から言ってほしいセリフ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名
1位	ありがとう	1536
2位	好き・大好き	198
3位	お疲れ様・ご苦労様	114
4位	愛してる	106
5位	感謝しています	47
6位	頑張っているね	46
7位	ご飯がおいしい	38
8位	かわいいね	24
	休んでいて・ゆっくりして	24
10位	頑張ってる	21

男性【n=2350】			女性【n=2350】		
	名			名	
1位	ありがとう	507	1位	ありがとう	1029
2位	お疲れ様・ご苦労様	86	2位	好き・大好き	127
3位	好き・大好き	71	3位	愛してる	42
4位	愛してる	64	4位	ご飯がおいしい	38
5位	感謝しています	26	5位	頑張っているね	37
6位	頑張ってる	20	6位	お疲れ様・ご苦労様	28
7位	お帰りなさい	14	7位	かわいいね	22
8位	頼りになるね・頼りにしてるよ	12	8位	感謝しています	21
9位	頑張ったね	10	9位	休んでいて・ゆっくりして	19
	ごめんなさい	9	10位	やっておくよ・やっておいたよ	13
10位	頑張っているね	9			
	好きなことをして・自由にして	9			

◆家族愛について

◆自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.1点

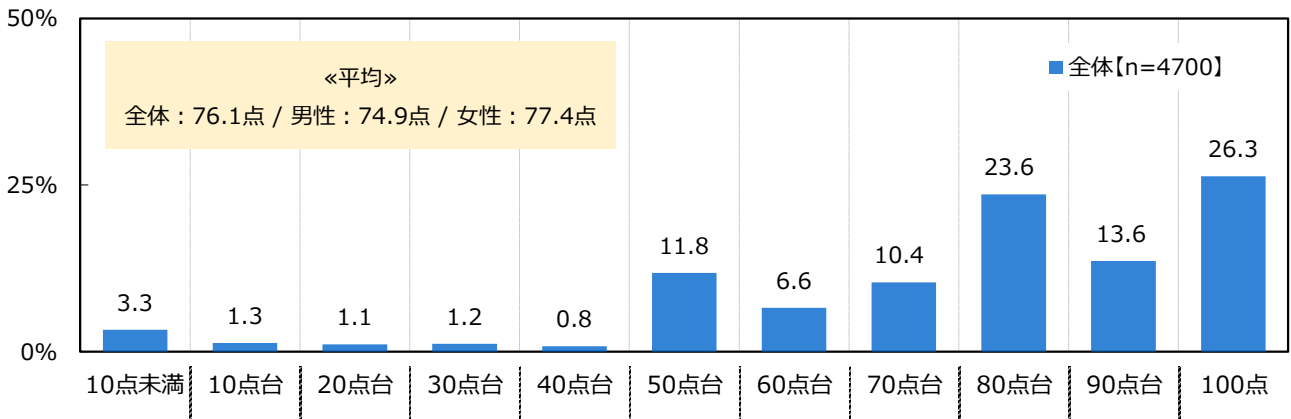
自己評価が高い都道府県 男性では1位「大分県」2位「山梨県」、女性では1位「沖縄県」2位「徳島県」

家族愛について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が聞いたところ、「80点台」（23.6%）や「100点」（26.3%）に多くの回答が集まり、平均は76.1点でした。男女別に平均をみると、男性74.9点、女性77.4点でした。

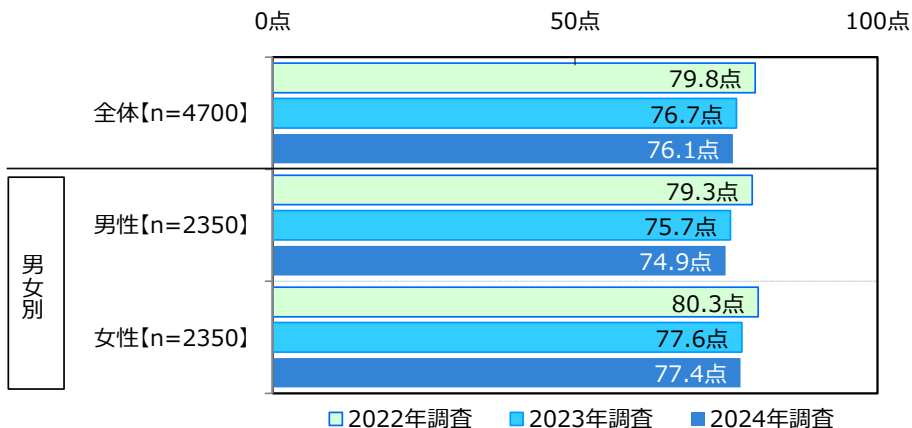
回答が多く集まったものについて理由をみると、「80点台」では「至らぬところもあるが、概ね上手くいっているから（60代男性）」や「愛しているけれどたまに怒ってしまうから（20代女性）」、「仕事で会えないときがあるのでその分足りていないから（30代男性）」、「家族のために尽くしているけど、たまに自分を優先するから（40代女性）」、「100点」では「他に比較しようがないほど愛しているから（20代男性）」や「最高に仲良しだから（60代女性）」、「一緒にいて幸せだと感じるから（20代女性）」、「何をしても家族を第一に考えて行動しているから（40代男性）」といった回答がありました。

◆自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点か（数値入力形式）



過去の調査結果と比較すると、平均は全体では2022年79.8点→2023年76.7点→2024年76.1点、男性では2022年79.3点→2023年75.7点→2024年74.9点、女性では2022年80.3点→2023年77.6点→2024年77.4点と、いずれも下降傾向がみられました。

◆自身の家族愛の点数（平均点）（数値入力形式）



都道府県別にみると、平均は1位が大分県（81.5点）、2位が愛知県（80.7点）、3位が沖縄県（80.0点）、4位が鹿児島県（79.8点）、5位が山梨県（79.6点）でした。

◆自身の家族愛の点数（平均点）（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		点			点			点			点
1位	大分県	81.5	12位	福岡県	78.2	24位	高知県	75.7	35位	和歌山県	74.7
2位	愛知県	80.7	13位	群馬県	78.1	25位	長野県	75.6	37位	青森県	74.5
3位	沖縄県	80.0	14位	兵庫県	78.1	26位	石川県	75.5	38位	福井県	74.4
4位	鹿児島県	79.8	15位	滋賀県	77.5	27位	鳥取県	75.3	39位	山口県	74.1
5位	山梨県	79.6	16位	岡山県	77.2	29位	熊本県	75.3	40位	大阪府	73.9
6位	佐賀県	79.3	17位	東京都	76.9	30位	広島県	75.2	41位	三重県	73.3
7位	長崎県	79.2	18位	京都府	76.9	31位	神奈川県	75.0	42位	福島県	73.0
8位	埼玉県	78.9	19位	岩手県	76.7	32位	宮城県	74.9	43位	富山県	72.8
9位	香川県	78.7	20位	茨城県	76.2	33位	栃木県	74.9	44位	新潟県	72.6
10位	奈良県	78.5	21位	島根県	76.2	34位	千葉県	74.9	45位	岐阜県	71.7
11位	徳島県	78.3	22位	宮崎県	76.2	35位	愛媛県	74.8	46位	秋田県	71.5
			23位	静岡県	76.0				47位	山形県	70.8

男女・都道府県別にみると、平均は男性では1位が大分県（82.3点）、2位が山梨県（81.4点）、3位が埼玉県（80.7点）、女性では1位が沖縄県（82.8点）、2位が徳島県（82.5点）、3位が愛知県（82.1点）でした。

◆自身の家族愛の点数（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	大分県	82.3	11位	静岡県	78.1	23位	東京都	75.5	36位	長野県	71.4
2位	山梨県	81.4	13位	岡山県	77.5	25位	宮崎県	74.8	37位	茨城県	71.2
3位	埼玉県	80.7	14位	沖縄県	77.2	26位	徳島県	74.1	38位	秋田県	71.1
4位	佐賀県	80.0	15位	和歌山県	77.0	27位	福島県	74.0	39位	北海道	71.0
5位	香川県	79.9	16位	福井県	76.7	28位	熊本県	73.7	40位	山形県	70.9
6位	福岡県	79.5	18位	奈良県	76.7	29位	千葉県	73.5	41位	愛媛県	70.8
7位	兵庫県	79.4	19位	京都府	76.3	30位	神奈川県	73.4	42位	栃木県	69.7
8位	愛知県	79.2	20位	石川県	76.1	31位	高知県	73.1	43位	新潟県	69.4
	長崎県	79.2	21位	滋賀県	76.0	32位	鳥取県	72.7	44位	富山県	69.4
10位	鹿児島県	78.9	22位	岩手県	75.7	33位	島根県	72.6	45位	三重県	69.2
11位	群馬県	78.1	23位	宮城県	75.6	34位	広島県	72.5	46位	山口県	68.8
				青森県	75.5	35位	岐阜県	72.1	47位	大阪府	67.5

女性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	沖縄県	82.8	12位	山口県	79.4	23位	山梨県	77.7	36位	富山県	76.2
2位	徳島県	82.5	13位	長崎県	79.3	25位	香川県	77.6	37位	新潟県	75.8
3位	愛知県	82.1	14位	滋賀県	79.0	27位	宮崎県	77.6	38位	石川県	74.9
4位	茨城県	81.2	15位	愛媛県	78.8	28位	三重県	77.5	39位	宮城県	74.2
5位	大分県	80.7	16位	佐賀県	78.5	29位	京都府	77.4	40位	静岡県	74.0
	鹿児島県	80.7	17位	北海道	78.4	30位	埼玉県	77.1	41位	青森県	73.6
7位	奈良県	80.4	18位	高知県	78.3		兵庫県	76.9	42位	和歌山県	72.4
8位	大阪府	80.2	19位	東京都	78.2		岡山県	76.9	43位	福井県	72.1
9位	栃木県	80.0	20位	群馬県	78.1		福岡県	76.9	44位	福島県	72.0
10位	長野県	79.8	21位	鳥取県	77.9		熊本県	76.9	45位	秋田県	71.9
11位	島根県	79.7	22位	広島県	77.9	34位	神奈川県	76.6	46位	岐阜県	71.4
			23位	岩手県	77.7	35位	千葉県	76.3	47位	山形県	70.6

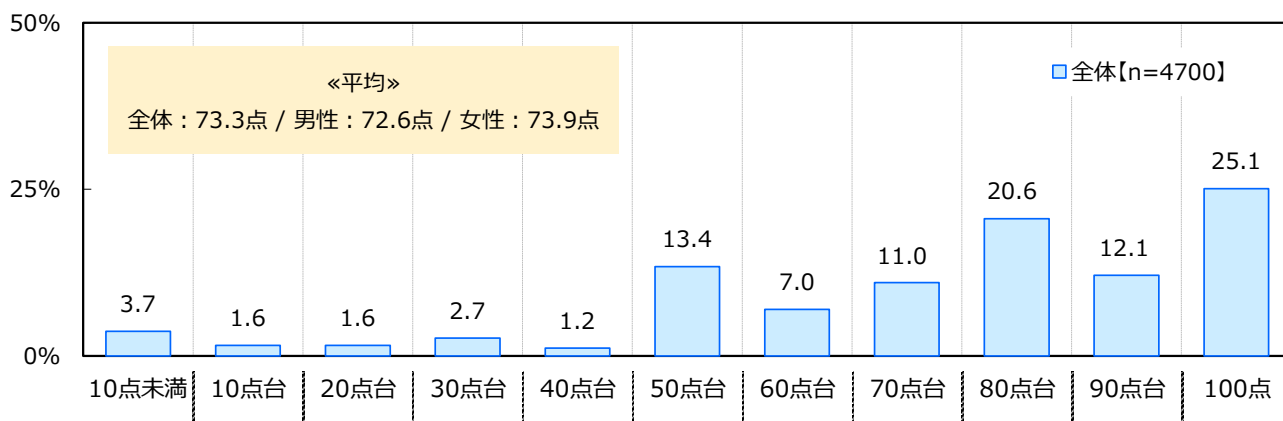
・自身が感じる“家族から自身への愛”を100点満点で評価すると？ 全体平均は73.3点

評価が高い都道府県 男性では1位「大分県」2位「山梨県」、女性では1位「鹿児島県」2位「神奈川県」

他方、自身が感じる“家族から自身への愛”の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が聞いたところ、「80点台」（20.6%）や「100点」（25.1%）に多くの回答が集まり、平均は73.3点でした。男女別に平均をみると、男性72.6点、女性73.9点でした。

回答が多く集まったものについて理由をみると、「80点台」では「感謝の気持ちを伝えてくれるから（50代女性）」や「信頼されていると感じるから（50代男性）」、「大切に思われているから（60代女性）」、「仲良しだから（50代女性）」、「100点」では「何から何まで本当に支えてもらっているから（60代男性）」や「みんなが『大好き』と言ってくれるから（30代男性）」、「思いやりをもって接してくれていると感じているから（20代女性）」、「毎日幸せな時間をもらっているから（50代女性）」といった回答がありました。

◆自身が感じる“家族から自身への愛”の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が（数値入力形式）

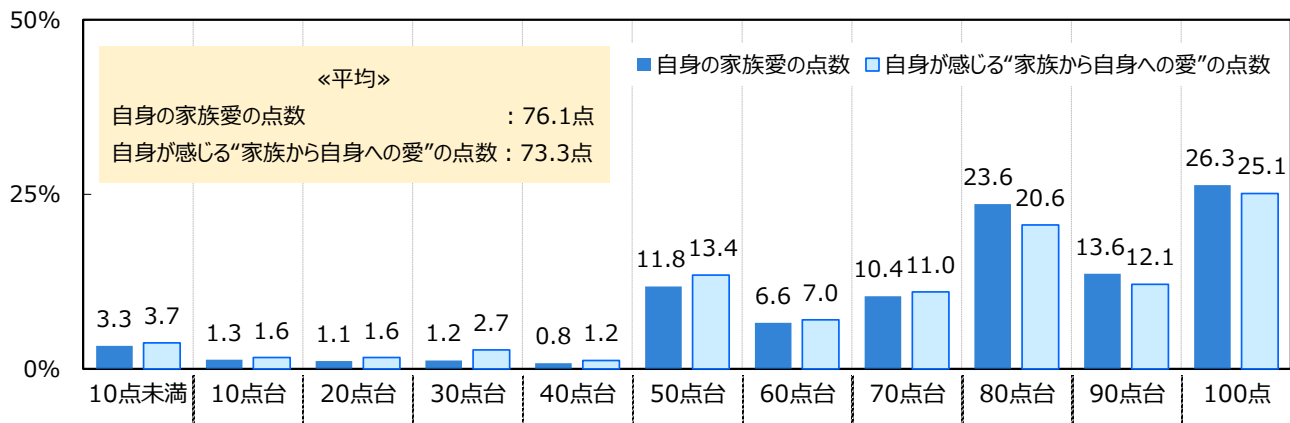


ここで、自身の家族愛の点数と比較すると、自身が感じる“家族から自身への愛”の点数（平均73.3点）と比べて自身の家族愛の点数（平均76.1点）のほうが2.8点高くなりました。

◆自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が（数値入力形式）

◆自身が感じる“家族から自身への愛”の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点が（数値入力形式）

全体【n=4700】



男女・都道府県別にみると、平均は男性では1位が大分県（81.9点）、2位が山梨県（81.4点）、3位が長崎県（81.0点）、女性では1位が鹿児島県（80.9点）、2位が神奈川県（79.2点）、3位が東京都（79.1点）でした。

◆自身が感じる“家族から自身への愛”の点数（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	大分県	81.9	12位	和歌山県	74.0	24位	島根県	72.1	36位	徳島県	70.4
2位	山梨県	81.4	13位	福井県	73.8	26位	熊本県	72.1	37位	山形県	69.8
3位	長崎県	81.0	14位	鹿児島県	73.7	27位	三重県	72.0	39位	京都府	69.8
4位	香川県	79.5	15位	東京都	73.6	29位	石川県	71.7	40位	鳥取県	69.6
5位	佐賀県	78.6	16位	宮城県	72.9	31位	静岡県	71.7	41位	広島県	69.5
6位	福岡県	77.3	17位	長野県	72.8	32位	奈良県	71.6	42位	岩手県	69.4
7位	岡山県	76.5	18位	群馬県	72.7	33位	高知県	71.6	43位	神奈川県	68.5
8位	愛知県	76.0	20位	宮崎県	72.7	35位	滋賀県	71.5	44位	富山県	68.3
9位	埼玉県	75.5	21位	青森県	72.4	37位	大阪府	71.3	45位	新潟県	67.4
10位	兵庫県	75.2	23位	茨城県	72.3	39位	北海道	70.9	46位	岐阜県	67.3
11位	沖縄県	74.2		千葉県	72.3	41位	栃木県	70.9	47位	秋田県	67.2
				福島県	72.2		愛媛県	70.7		山口県	66.8

女性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	鹿児島県	80.9	11位	山口県	76.2	24位	埼玉県	73.8	35位	京都府	71.7
2位	神奈川県	79.2	13位	島根県	76.1	25位	熊本県	73.5	37位	千葉県	71.6
3位	東京都	79.1	14位	富山県	76.0	27位	沖縄県	73.5	38位	石川県	71.5
4位	大阪府	79.0	16位	奈良県	76.0	29位	岩手県	73.2	39位	宮城県	71.3
5位	愛知県	78.3	17位	宮崎県	75.2	31位	高知県	73.2	40位	佐賀県	70.4
6位	北海道	78.1	18位	兵庫県	75.0	32位	群馬県	72.7	41位	福井県	70.3
7位	鳥取県	77.8	19位	三重県	74.9	33位	和歌山県	72.6	42位	広島県	70.2
8位	徳島県	77.6	20位	長崎県	74.8	35位	青森県	72.5	43位	山形県	70.0
9位	香川県	76.6	22位	滋賀県	74.6		岡山県	72.2	44位	静岡県	69.1
10位	茨城県	76.5	23位	福岡県	74.6		栃木県	72.1	45位	秋田県	68.8
11位	長野県	76.2		愛媛県	74.3		福島県	72.0	46位	新潟県	68.6
				大分県	73.9		山梨県	71.7	47位	岐阜県	67.6

・家族愛を深めるために欠かせないと思うこと 1位「普段から会話する」2位「家族で団らん・食事する」

家族愛を深めるための行動について質問しました。

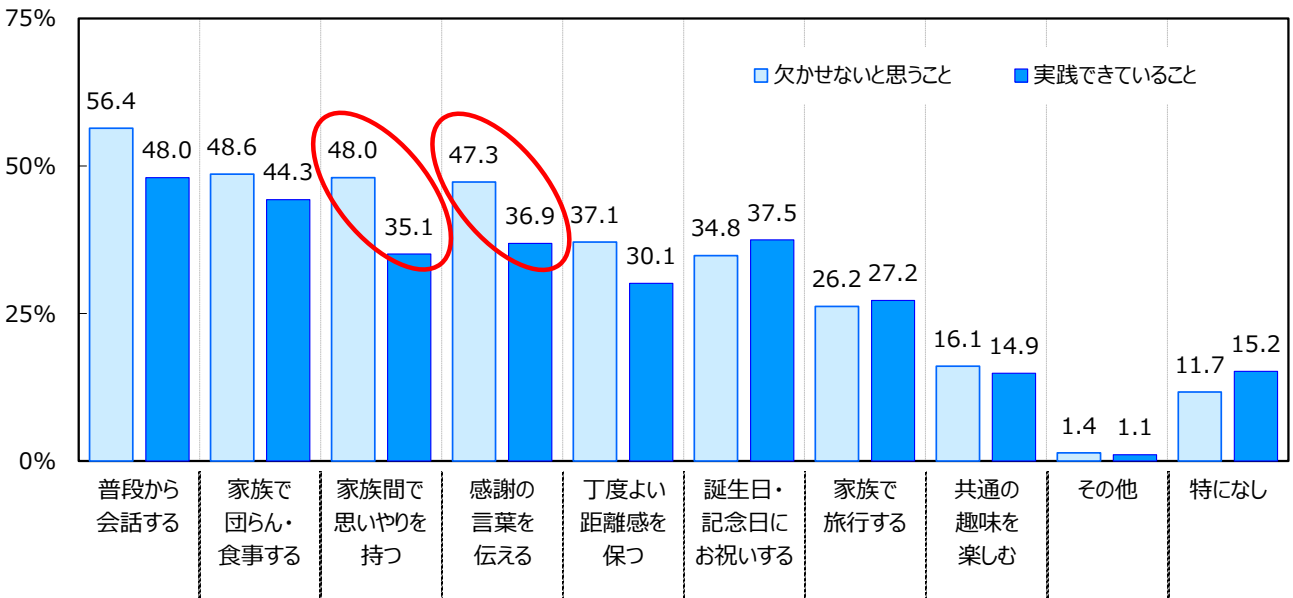
全回答者（4,700名）に、家族愛を深めるために欠かせないと思うことを聞いたところ、「普段から会話する」（56.4%）が最も高くなり、「家族で団らん・食事する」（48.6%）、「家族間で思いやりを持つ」（48.0%）、「感謝の言葉を伝える」（47.3%）、「丁度よい距離感を保つ」（37.1%）が続きました。

家族愛を深めるために実践できていることを聞いたところ、「普段から会話する」（48.0%）が最も高くなり、「家族で団らん・食事する」（44.3%）、「誕生日・記念日にお祝いする」（37.5%）、「感謝の言葉を伝える」（36.9%）、「家族間で思いやりを持つ」（35.1%）が続きました。

“欠かせないと思うこと”と“実践できていること”を比較すると、「家族間で思いやりを持つ」（欠かせないと思うこと 48.0%、実践できていること 35.1%）と「感謝の言葉を伝える」（欠かせないと思うこと 47.3%、実践できていること 36.9%）では、“実践できていること”とした割合のほうが“欠かせないと思うこと”とした割合よりも 10 ポイント以上低くなりました。家族愛を深めるうえで大切だとわかってはいても、家族に対し思いやりを持ったり感謝の言葉を伝えたりすることを十分にできていない人が少なくないようです。

◆家族愛を深めるために欠かせないと思うこと／実践できていること（各複数回答形式）

全体[n=4700]



◆配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて

◆今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数 平均は 24.7 回

1 位「長野県」43.5 回、2 位「群馬県」38.7 回、3 位「鹿児島県」38.3 回

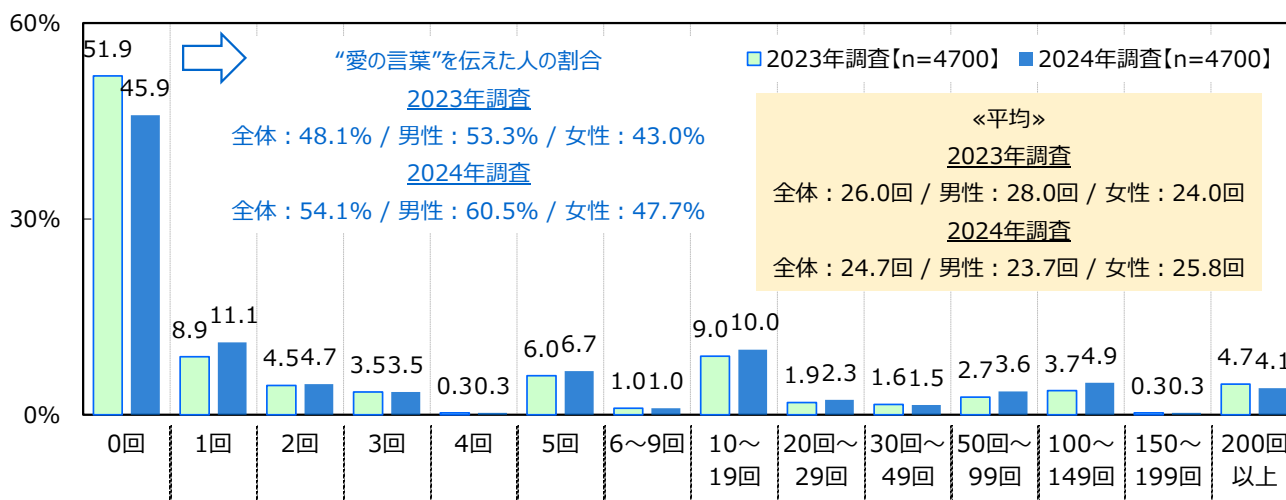
配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか聞いたところ、「1 回」（11.1%）や「5 回」（6.7%）、「10～19 回」（10.0%）、「100～149 回」（4.9%）などに回答が分かれ、平均は 24.7 回でした。「0 回」は 45.9%で、“愛の言葉”を伝えた人の割合は 54.1%となりました。

男女別にみると、“愛の言葉”を伝えた回数の平均は、女性では 25.8 回と男性（23.7 回）と比べて 2.1 回多くなり、“愛の言葉”を伝えた人の割合は男性では 60.5%と女性（47.7%）と比べて 12.8 ポイント高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、“愛の言葉”を伝えた回数の平均は 2023 年 26.0 回→2024 年 24.7 回と 1.3 回少なくなった一方、“愛の言葉”を伝えた人の割合は 2023 年 48.1%→2024 年 54.1%と 6.0 ポイント高くなりました。

◆今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか（数値入力形式）



都道府県別にみると、“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数の平均は、長野県（43.5 回）が最も多くなり、群馬県（38.7 回）、鹿児島県（38.3 回）、北海道（37.5 回）、沖縄県（34.6 回）が続きました。

◆今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数（平均）

各都道府県【n=100】

1位	長野県	43.5	12位	宮崎県	28.8	24位	島根県	24.6	36位	青森県	20.0
2位	群馬県	38.7	13位	高知県	28.4	25位	岩手県	24.4	37位	徳島県	20.0
3位	鹿児島県	38.3	14位	京都府	28.3	26位	長崎県	23.9	38位	奈良県	19.6
4位	北海道	37.5	15位	山梨県	27.9	27位	岡山県	23.0	39位	秋田県	19.5
5位	沖縄県	34.6	16位	佐賀県	27.2	28位	福岡県	23.0	40位	千葉県	17.9
6位	香川県	33.8	17位	埼玉県	26.7	29位	宮城県	22.6	41位	滋賀県	17.9
7位	大分県	32.1	18位	静岡県	26.6	30位	鳥取県	22.4	42位	石川県	16.2
8位	大阪府	31.7	19位	福井県	25.8	31位	熊本県	21.4	43位	新潟県	14.5
9位	山形県	31.3	20位	福島県	25.2	32位	和歌山県	20.8	44位	茨城県	14.4
10位	山口県	30.1	21位	三重県	25.2	33位	愛媛県	20.7	45位	神奈川県	13.6
11位	愛知県	28.9	22位	広島県	24.8	34位	栃木県	20.5	46位	岐阜県	11.1
			23位	東京都	24.7	35位	富山県	20.2	47位	兵庫県	10.0

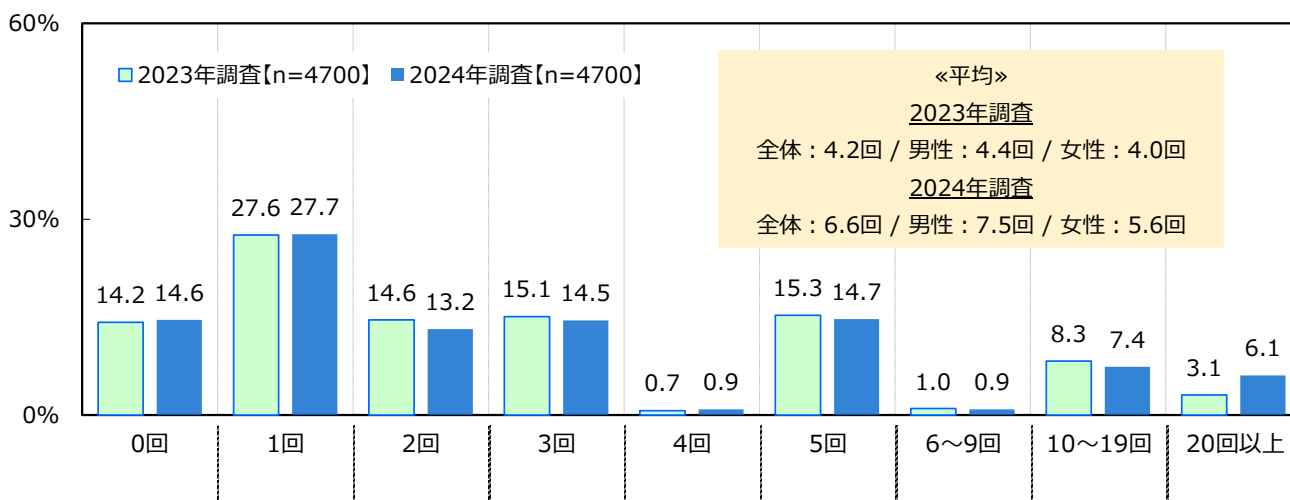
・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は 6.6 回/日

1 位「岩手県」12.9 回、2 位「京都府」11.8 回、3 位「東京都」9.9 回

全回答者（4,700 名）に、配偶者・パートナーに 1 日で何回くらい“ありがとう”と言っているか聞いたところ、「1 回」（27.7%）に最も多くの回答が集まったほか、「2 回」（13.2%）や「3 回」（14.5%）、「5 回」（14.7%）にも回答がみられ、平均は 6.6 回でした。また、「0 回」は 14.6%となりました。

前回の調査結果と比較すると、1 日に“ありがとう”と言っている回数の平均は 2023 年 4.2 回→2024 年 6.6 回と 2.4 回多くなり、男女別では男性が 3.1 回多く（2023 年 4.4 回→2024 年 7.5 回）、女性が 1.6 回（2023 年 4.0 回→2024 年 5.6 回）多くなりました。普段の生活で配偶者・パートナーに対し感謝の気持ちを言葉にして伝えるケースは増えているようです。

◆配偶者・パートナーに1日で何回くらい“ありがとう”と言っているか（数値入力形式）



都道府県別にみると、1 日に“ありがとう”と言っている回数の平均は、岩手県（12.9 回）が最も多くなり、京都府（11.8 回）、東京都（9.9 回）、大分県（9.8 回）、沖縄県（9.5 回）が続きました。

◆配偶者・パートナーに1日に“ありがとう”と言っている回数（平均）

各都道府県 [n=100]

順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数
1位	岩手県	12.9	12位	宮城県	7.9	23位	大阪府	6.3	36位	福井県	4.9
2位	京都府	11.8	13位	山口県	7.6	24位	島根県	6.3	37位	岐阜県	4.8
3位	東京都	9.9	14位	徳島県	7.6	25位	鳥取県	6.1	38位	青森県	4.7
4位	大分県	9.8	15位	北海道	7.4	26位	秋田県	5.6	39位	和歌山県	4.7
5位	沖縄県	9.5	16位	岡山県	7.1	27位	埼玉県	5.5	40位	長崎県	4.7
6位	群馬県	9.2	17位	三重県	6.8	28位	高知県	5.5	41位	広島県	4.5
7位	山形県	8.9	18位	愛媛県	6.8	29位	佐賀県	5.5	42位	奈良県	4.3
8位	千葉県	8.7	19位	石川県	6.7	30位	富山県	5.3	43位	福岡県	4.3
9位	福島県	8.1	20位	長野県	6.7	31位	香川県	5.3	44位	静岡県	4.2
	新潟県	8.1	21位	滋賀県	6.5	32位	愛知県	5.2	45位	兵庫県	4.1
11位	山梨県	8.0	22位	鹿児島県	6.5	33位	栃木県	5.1	46位	熊本県	3.9
			23位	神奈川県	6.3	34位	茨城県	5.0	47位	宮崎県	3.6

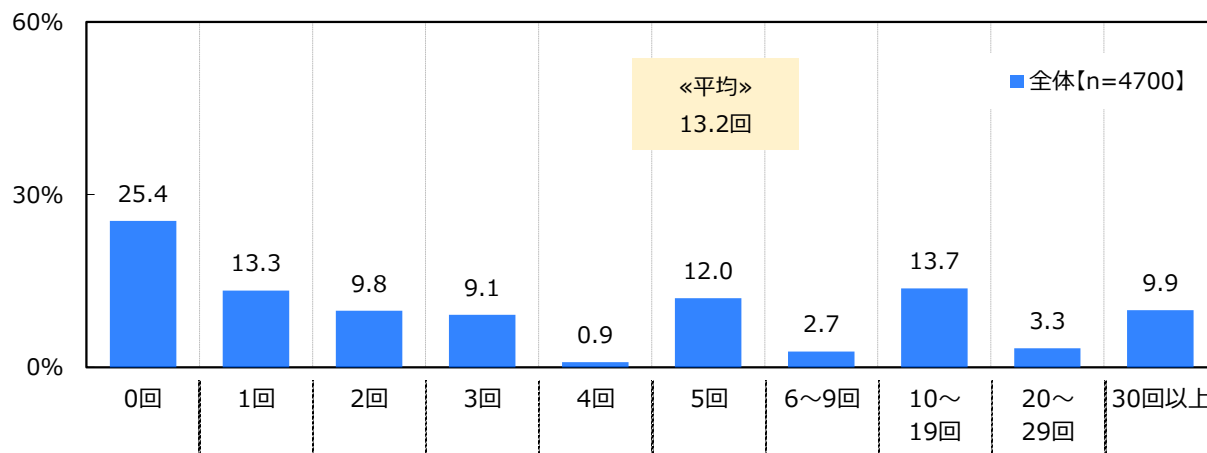
・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数 平均は 13.2 回、1 位は山梨県で 25.1 回

・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数 平均は 7.3 回/月、1 位は岩手県で 11.6 回/月

配偶者・パートナーとの喧嘩について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか聞いたところ、「0 回」（25.4%）に最も多くの回答が集まったほか、「1 回」（13.3%）や「5 回」（12.0%）、「10～19 回」（13.7%）にも回答がみられ、平均は 13.2 回でした。

◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか（数値入力形式）



都道府県別にみると、喧嘩をした回数の平均は、山梨県（25.1 回）が最も多くなり、大分県（20.7 回）、岡山県（19.0 回）、大阪府（18.3 回）、鹿児島県（18.1 回）が続きました。

前回の調査結果とあわせてみると、岐阜県は 2 年連続 47 位（2023 年 4.3 回、2024 年 6.4 回）でした。温和な性格の人が多く、喧嘩に発展するケースがあまりないのではないのでしょうか。

※2023 年調査：『家族愛に関する調査 2023』（2023 年 11 月 20 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20231120.pdf

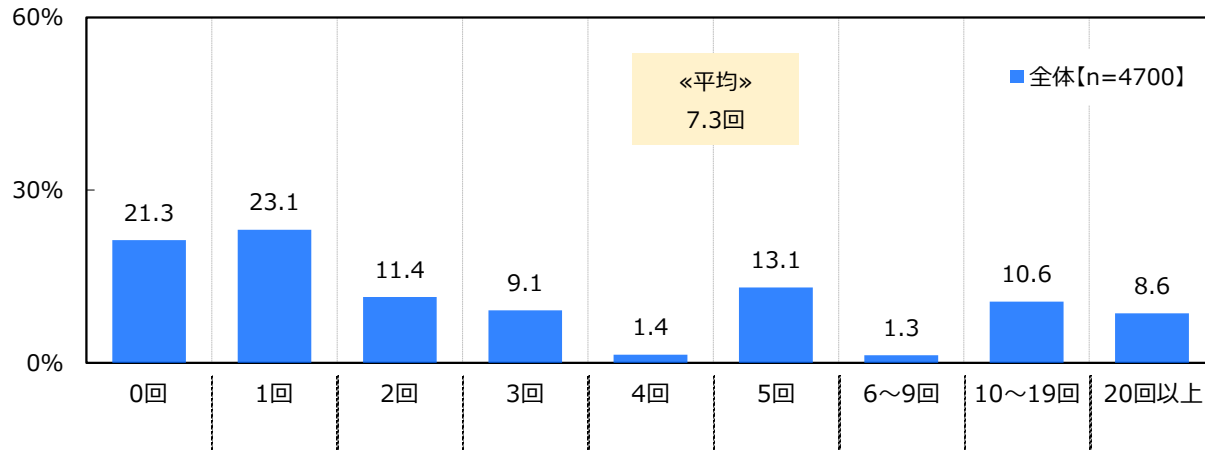
◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をした回数（平均）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数
1位	山梨県	25.1	12位	群馬県	16.2	24位	北海道	12.9	36位	愛媛県	10.5
2位	大分県	20.7	13位	宮城県	15.7	25位	香川県	12.8	37位	山形県	10.3
3位	岡山県	19.0	14位	千葉県	15.0	26位	埼玉県	12.2	38位	新潟県	9.4
4位	大阪府	18.3	15位	佐賀県	14.7	27位	徳島県	12.2	39位	神奈川県	9.3
5位	鹿児島県	18.1	16位	和歌山県	14.5	28位	静岡県	12.1	40位	奈良県	9.1
6位	富山県	17.7	17位	長野県	14.4	29位	沖縄県	11.8	41位	熊本県	8.4
7位	三重県	17.7	18位	島根県	14.3	30位	広島県	11.6	42位	秋田県	8.1
8位	山口県	17.5	19位	滋賀県	14.2	31位	青森県	11.3	43位	兵庫県	8.1
9位	愛知県	17.3	20位	福島県	14.1	32位	栃木県	11.2	44位	福岡県	8.1
10位	石川県	17.1	21位	茨城県	13.6	33位	東京都	11.2	45位	京都府	7.9
11位	宮崎県	16.6	22位	福井県	13.3	34位	高知県	11.1	46位	長崎県	7.7
			23位	岩手県	13.1	35位	鳥取県	10.7	47位	岐阜県	6.4

また、配偶者・パートナーに1カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか聞いたところ、「0回」（21.3%）や「1回」（23.1%）、「5回」（13.1%）などに回答が分かれ、平均は7.3回でした。

◆配偶者・パートナーに1カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか（数値入力形式）



都道府県別にみると、1カ月に“ごめんね”と言っている回数の平均は、岩手県（11.6回）が最も多くなり、山口県（11.4回）、千葉県（11.2回）、大分県（10.7回）、東京都（10.3回）が続きました。

◆配偶者・パートナーに1カ月に“ごめんね”と言っている回数（平均）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数
1位	岩手県	11.6	12位	山梨県	8.6	34位	島根県	6.0
2位	山口県	11.4	13位	長野県	8.6	35位	長崎県	6.0
3位	千葉県	11.2	14位	鳥取県	8.3	36位	埼玉県	5.8
4位	大分県	10.7	15位	大阪府	8.2	37位	静岡県	5.8
5位	東京都	10.3	16位	愛媛県	8.0	38位	熊本県	5.7
6位	山形県	9.6	17位	佐賀県	7.9	39位	沖縄県	5.7
7位	三重県	9.3	18位	徳島県	7.6	40位	福岡県	5.6
8位	福島県	9.0	19位	京都府	7.0	41位	茨城県	5.5
9位	滋賀県	8.9	20位	鹿児島県	6.9	42位	福井県	5.4
10位	群馬県	8.8	21位	石川県	6.8	43位	兵庫県	5.4
11位	北海道	8.7	22位	愛知県	6.8	44位	和歌山県	5.3
			23位	香川県	6.7	45位	奈良県	4.4
						46位		
						47位		

・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの

男性 TOP2 は「愚痴が多い」「お金の無駄遣いをする」、女性 TOP2 は「スマホばかり見ている」「イビキがうるさい」

配偶者・パートナーに対するイライラの原因となっているのはどのようなことなのでしょうか。

全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるものを聞いたところ、1位は「スマホばかり見ている」（18.1%）となりました。スマホに夢中でコミュニケーションを取りづらいことに苛立ちを覚える人が多いようです。次いで、2位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（15.6%）、3位「イビキがうるさい」（14.1%）となりました。配偶者・パートナーと険悪な雰囲気になることを避けるため、“スマホに熱中しない”“電気をつけっぱなし・水を流しっぱなしにしない”“イビキを改善する”といったことに気をつけるとよいのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性では1位「愚痴が多い」（12.7%）、2位「お金の無駄遣いをする」（10.5%）、3位「スマホばかり見ている」（10.4%）、4位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（9.9%）、5位「部屋を散らかす」（9.7%）、女性では1位「スマホばかり見ている」（25.9%）、2位「イビキがうるさい」（22.7%）、3位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（21.3%）、4位「部屋を散らかす」（17.9%）、5位「お金の無駄遣いをする」（16.6%）となりました。

また、男性では6位に「掃除機がけ・モップがけをしない」（7.3%）、8位に「外出前の身支度が長い」（6.8%）、9位に「会話が少ない」（6.0%）、女性では6位に「服・靴を脱ぎっぱなしにする」（15.3%）、8位に「休日に寝てばかりいる」と「使った食器を片付けない」（いずれも14.6%）、10位に「消耗品（トイレットペーパー・シャンプーなど）を補充しない」（14.5%）が挙がりました。

◆ 配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの（複数回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	%
1位	スマホばかり見ている	18.1
2位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	15.6
3位	イビキがうるさい	14.1
4位	部屋を散らかす	13.8
5位	お金の無駄遣いをする	13.6
6位	ゴミを片付けない・分別しない	10.8
7位	愚痴が多い	10.7
8位	掃除機がけ・モップがけをしない	10.3
9位	服・靴を脱ぎっぱなしにする	10.0
	休日に寝てばかりいる	10.0

男性【n=2350】			女性【n=2350】		
		%			%
1位	愚痴が多い	12.7	1位	スマホばかり見ている	25.9
2位	お金の無駄遣いをする	10.5	2位	イビキがうるさい	22.7
3位	スマホばかり見ている	10.4	3位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	21.3
4位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	9.9	4位	部屋を散らかす	17.9
5位	部屋を散らかす	9.7	5位	お金の無駄遣いをする	16.6
6位	掃除機がけ・モップがけをしない	7.3	6位	服・靴を脱ぎっぱなしにする	15.3
7位	ゴミを片付けない・分別しない	6.9	7位	ゴミを片付けない・分別しない	14.7
8位	外出前の身支度が長い	6.8	8位	休日に寝てばかりいる	14.6
9位	会話が少ない	6.0		使った食器を片付けない	14.6
10位	イビキがうるさい	5.5	10位	消耗品（トイレットペーパー・シャンプーなど）を補充しない	14.5

◆家庭における防災対策について

・「災害発生時の連絡方法を家族で確認している」全体の48%、都道府県別の1位は東京都

・「災害発生時の自宅近くの避難場所を家族で確認している」全体の59%、都道府県別の1位は和歌山県

・「災害発生時の家族の行動範囲にある避難場所を家族で確認している」全体の49%、

都道府県別の1位は愛知県

・「防災用品の保管場所を家族で確認している」全体の49%、都道府県別の1位は東京都

家庭における防災対策について質問しました。

全回答者（4,700名）に、家庭における防災対策について、家族で確認しているか聞いたところ、「災害発生時の連絡方法」を確認している人の割合は47.8%となりました。

都道府県別にみると、家族で確認している人の割合は、東京都（68.0%）が最も高くなり、大分県（62.0%）、宮崎県（60.0%）が続きました。

◆家庭における防災対策について、家族で確認しているか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「災害発生時の連絡方法 全体：47.8%」

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	東京都	68.0	11位	長崎県	54.0	23位	和歌山県	46.0	36位	栃木県	43.0
2位	大分県	62.0	13位	石川県	52.0		香川県	46.0	38位	福岡県	43.0
3位	宮崎県	60.0	14位	山形県	51.0		秋田県	45.0	39位	奈良県	42.0
4位	山梨県	59.0	15位	高知県	50.0	26位	富山県	45.0	41位	福井県	41.0
5位	宮城県	58.0	16位	岩手県	49.0		滋賀県	45.0		広島県	41.0
	徳島県	58.0		茨城県	49.0		北海道	44.0		群馬県	40.0
7位	兵庫県	57.0		三重県	49.0		福島県	44.0		鳥取県	40.0
8位	熊本県	56.0	19位	埼玉県	48.0	29位	長野県	44.0		島根県	40.0
	愛知県	55.0		静岡県	48.0		岐阜県	44.0		岡山県	40.0
9位	大阪府	55.0	21位	千葉県	47.0		愛媛県	44.0	45位	山口県	37.0
	神奈川県	54.0		新潟県	47.0		鹿児島県	44.0		佐賀県	37.0
11位	神奈川県	54.0	23位	京都府	46.0		沖縄県	44.0	47位	青森県	35.0

「災害発生時の自宅近くの避難場所」を確認している人の割合は58.5%となりました。

都道府県別にみると、家族で確認している人の割合は、和歌山県（74.0%）が最も高くなり、東京都（71.0%）、大阪府と高知県（いずれも70.0%）が続きました。

◆家庭における防災対策について、家族で確認しているか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「災害発生時の自宅近くの避難場所 全体：58.5%」

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	和歌山県	74.0	12位	京都府	65.0	24位	長崎県	58.0	35位	埼玉県	53.0
2位	東京都	71.0	13位	石川県	64.0	25位	長野県	57.0		奈良県	53.0
3位	大阪府	70.0		愛媛県	64.0		岐阜県	57.0	38位	群馬県	52.0
	高知県	70.0	15位	三重県	63.0		北海道	56.0		福岡県	52.0
5位	愛知県	69.0		宮崎県	63.0	27位	岩手県	56.0	40位	鹿児島県	51.0
6位	山梨県	68.0		宮城県	61.0		千葉県	56.0	41位	山口県	50.0
	兵庫県	67.0	17位	山形県	61.0		秋田県	55.0		栃木県	49.0
7位	大分県	67.0		滋賀県	61.0	30位	富山県	55.0	42位	岡山県	49.0
	静岡県	66.0		香川県	61.0		沖縄県	55.0		佐賀県	49.0
9位	徳島県	66.0	21位	神奈川県	60.0		新潟県	54.0	45位	鳥取県	45.0
	熊本県	66.0	22位	福井県	59.0	33位	島根県	54.0	46位	福島県	44.0
				広島県	59.0	35位	茨城県	53.0	47位	青森県	41.0

「災害発生時の家族の行動範囲にある避難場所」を確認している人の割合は48.5%となりました。

都道府県別にみると、家族で確認している人の割合は、愛知県（66.0%）が最も高くなり、宮崎県（65.0%）、東京都（61.0%）が続きました。

◆家庭における防災対策について、家族で確認しているか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「災害発生時の家族の行動範囲にある避難場所 全体：48.5%」

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%	
1位	愛知県	66.0	12位	岩手県	53.0	22位	愛媛県	48.0	35位	奈良県	42.0	
2位	宮崎県	65.0		神奈川県	53.0	25位	秋田県	47.0		福岡県	42.0	
3位	東京都	61.0		石川県	53.0	27位	岐阜県	47.0	38位	新潟県	41.0	
4位	宮城県	58.0		三重県	53.0		茨城県	46.0		山口県	41.0	
	和歌山県	58.0		京都府	53.0	滋賀県	46.0	41位	沖縄県	41.0		
	高知県	58.0		兵庫県	53.0	埼玉県	45.0	42位	福島県	40.0		
9位	熊本県	58.0		18位	北海道	52.0	29位	富山県	45.0	43位	佐賀県	39.0
	大分県	58.0		19位	静岡県	51.0		広島県	45.0		栃木県	38.0
10位	大阪府	57.0		21位	香川県	51.0	32位	島根県	44.0	43位	群馬県	38.0
	山梨県	56.0		22位	長野県	49.0		長崎県	44.0	45位	鳥取県	37.0
	徳島県	56.0		山形県	48.0	34位	鹿児島県	43.0		岡山県	37.0	
				千葉県	48.0	35位	福井県	42.0	47位	青森県	33.0	

「防災用品の保管場所」を確認している人の割合は49.1%となりました。

都道府県別にみると、家族で確認している人の割合は、東京都（72.0%）が最も高くなり、静岡県（69.0%）、愛知県（67.0%）が続きました。

◆家庭における防災対策について、家族で確認しているか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「防災用品の保管場所 全体：49.1%」

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%
1位	東京都	72.0	9位	愛媛県	55.0	24位	岐阜県	49.0	34位	島根県	42.0
2位	静岡県	69.0	13位	神奈川県	54.0		京都府	49.0	37位	秋田県	41.0
3位	愛知県	67.0		大阪府	54.0	奈良県	49.0	38位	北海道	40.0	
4位	宮崎県	63.0		熊本県	54.0	27位	香川県	48.0		岡山県	40.0
5位	山梨県	60.0	17位	大分県	54.0	28位	長野県	47.0	40位	山形県	39.0
6位	宮城県	58.0	18位	埼玉県	53.0	29位	富山県	46.0			群馬県
	高知県	58.0		岩手県	52.0		福岡県	46.0		鳥取県	39.0
8位	徳島県	57.0	20位	茨城県	52.0	31位	滋賀県	44.0	43位	広島県	38.0
	千葉県	55.0		和歌山県	51.0	33位	佐賀県	44.0		山口県	38.0
9位	三重県	55.0	22位	鹿児島県	51.0	34位	福島県	43.0	45位	沖縄県	37.0
	兵庫県	55.0		新潟県	50.0		栃木県	42.0	46位	長崎県	36.0
				石川県	50.0		福井県	42.0	47位	青森県	33.0

人口密集地のほか、首都直下地震や南海トラフ巨大地震の影響が危惧される都道府県で意識が高いことをうかがえる結果となりました。

◆子どもの名付けについて

◆子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人

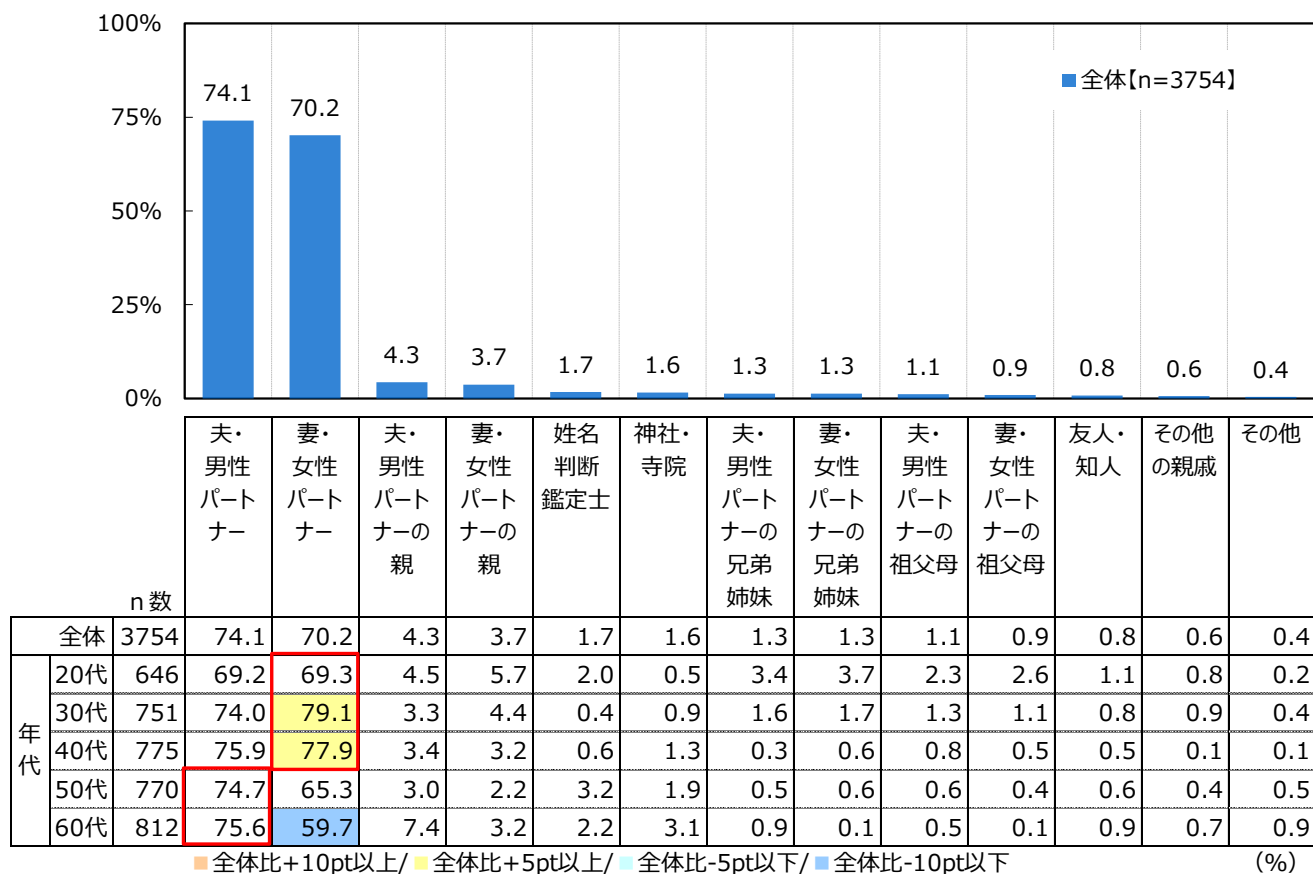
40代以下では「妻・女性パートナー」、50代以上では「夫・男性パートナー」が1位

子どもの名付けについて質問しました。

まず、子どもがいる方（3,754名）に、子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人を聞いたところ、「夫・男性パートナー」（74.1%）と「妻・女性パートナー」（70.2%）が突出して高くなりました。自身の子どもの名前は親自身で考えて決めたい人が多いようです。次いで高くなったのは、「夫・男性パートナーの親」（4.3%）、「妻・女性パートナーの親」（3.7%）、「姓名判断鑑定士」（1.7%）でした。

年代別にみると、20代から40代では「妻・女性パートナー」（20代69.3%、30代79.1%、40代77.9%）、50代と60代では「夫・男性パートナー」（50代74.7%、60代75.6%）が最も高くなりました。

◆子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人（複数回答形式） 対象：子どもがいる方

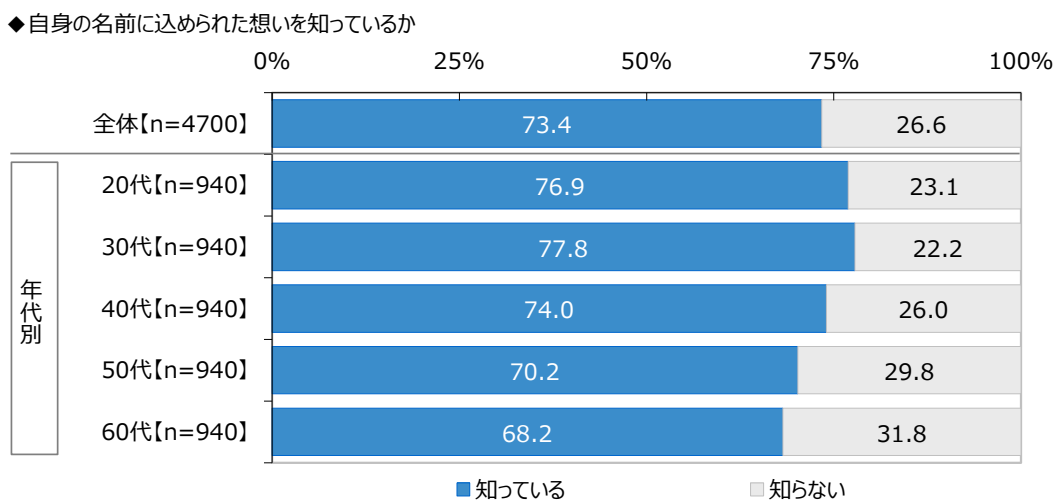


・「自身の名前に込められた想いを知っている」73%

自身の名前に込められた想いをどのくらい体現できている？ 自己評価は 100 点満点で平均 70.1 点

全回答者（4,700 名）に、自身の名前に込められた想いを知っているか聞いたところ、「知っている」は 73.4%、「知らない」は 26.6%となりました。

年代別にみると、「知っている」と回答した人の割合は若年層で高くなる傾向がみられ、20 代では 76.9%、30 代では 77.8%でした。名前の多様化に伴い、名前の由来や名前に込められた想いなど意味合いを伝える機会が多くなってきたのではないのでしょうか。



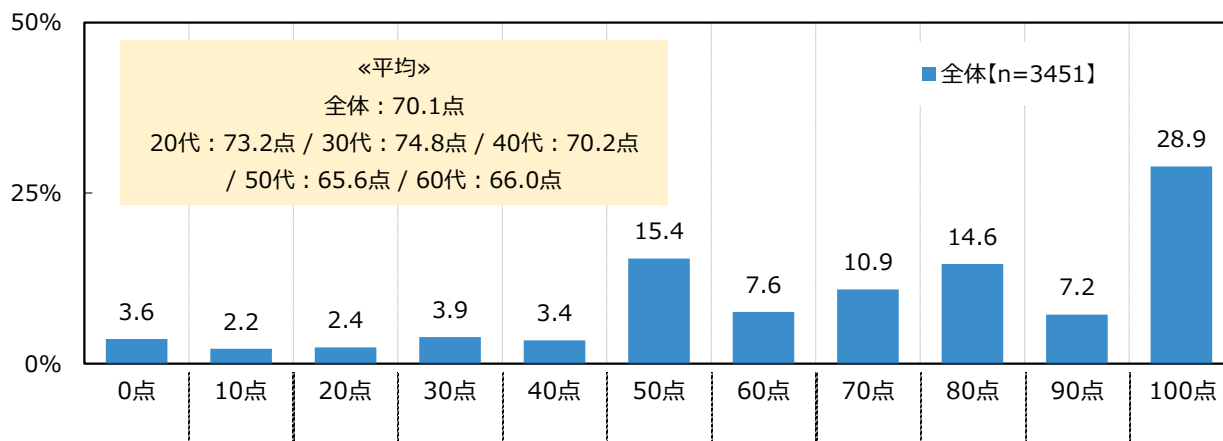
自身の名前に込められた想いを知っている方（3,451 名）に、自身の名前に込められた想いをどのくらい体現できているかについて、現在の点数を 100 点満点（0 点：全く体現できてない～100 点：完全に体現できている）で評価すると何点が聞いたところ、「100 点」（28.9%）に最も多くの回答が集まったほか、「50 点」（15.4%）や「70 点」（10.9%）、「80 点」（14.6%）にも回答が集まり、平均は 70.1 点でした。“こんな人間になってほしい”“こう育ててほしい”といった親の想いや期待にある程度応えられていると自己評価する人が多いようです。

年代別にみると、平均は若年層で高くなる傾向がみられ、20 代では 73.2 点、30 代では 74.8 点でした。

◆自身の名前に込められた想いをどのくらい体現できているかについて、

現在の点数を100点満点（0点：全く体現できてない～100点：完全に体現できている）で評価すると何点が（単一回答形式）

対象：自身の名前に込められた想いを知っている方



◆家族に届ける最後のメッセージについて

・人生最後のメッセージを家族の誰か一人に届けるとしたら？「ありがとう」がダントツ

夫に届ける言葉 2位は「幸せでした」、妻に届ける言葉 2位は「愛してる」

子どもに届ける言葉 男性 2位は「頑張ってる」、女性 2位は「生まれてきてくれてありがとう」

全回答者（4,700名）に、人生最後のメッセージを家族の誰か一人に届けるとしたら、誰にどのような言葉を届けるか聞きました。

配偶者・パートナーにメッセージを届けると回答した人（2,141名）に、届ける言葉を聞いたところ、1位「ありがとう」（1,410名）、2位「愛してる」（75名）、3位「幸せでした」（74名）となりました。男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」（男性843名、女性567名）となり、男性2位は「愛してる」（42名）、3位は「一緒にいてくれてありがとう」（32名）、女性2位は「幸せでした」（51名）、3位は「結婚してくれてありがとう」（41名）でした。

子どもにメッセージを届けると回答した人（906名）に、届ける言葉を聞いたところ、1位「ありがとう」（242名）、2位「生まれてきてくれてありがとう」（96名）、3位「好き・大好き」（71名）となりました。男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」（男性47名、女性195名）、男性の2位は「頑張ってる」（26名）、3位は「愛してる」（13名）、女性の2位は「生まれてきてくれてありがとう」（86名）、3位は「好き・大好き」（66名）でした。

親にメッセージを届けると回答した人（206名）に、届ける言葉を聞いたところ、1位「ありがとう」（121名）、2位「産んでくれてありがとう」（18名）、3位「育ててくれてありがとう」（14名）となりました。男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」（男性37名、女性84名）、男性2位は「育ててくれてありがとう」（4名）、3位は「ごめんなさい」（2名）、女性2位は「産んでくれてありがとう」（18名）、3位は「ごめんなさい」「育ててくれてありがとう」（いずれも10名）でした。

◆人生最後のメッセージを家族の誰か一人に届けるとしたら、誰にどのような言葉を届けるか（自由回答形式）

※配偶者・パートナーに届けたいメッセージ・子どもに届けたいメッセージは上位10位まで、親に届けたいメッセージは上位3位までを表示

■配偶者・パートナーに届けるメッセージ

全体[n=2141]			男性[n=1191]			女性[n=950]		
順位	言葉	名	順位	言葉	名	順位	言葉	名
1位	ありがとう	1410	1位	ありがとう	843	1位	ありがとう	567
2位	愛してる	75	2位	愛してる	42	2位	幸せでした	51
3位	幸せでした	74	3位	一緒にいてくれてありがとう	32	3位	結婚してくれてありがとう	41
4位	一緒にいてくれてありがとう	69	4位	感謝しています	27	4位	一緒にいてくれてありがとう	37
5位	結婚してくれてありがとう	58	5位	幸せでした	23	5位	愛してる	33
6位	感謝しています	42	6位	結婚してくれてありがとう	17	6位	好き・大好き	27
7位	後はよろしく・家族をよろしく	41	7位	楽しかったよ	16	7位	後はよろしく・家族をよろしく	25
	好き・大好き	41		後はよろしく・家族をよろしく	16	8位	感謝しています	15
9位	楽しかったよ	29	9位	好き・大好き	14	9位	楽しかったよ	13
10位	ごめんなさい	21	10位	ごめんなさい	9	10位	ごめんなさい	12
							出会えてよかった	12

■子どもに届けるメッセージ

全体[n=906]			男性[n=202]			女性[n=704]		
順位	言葉	名	順位	言葉	名	順位	言葉	名
1位	ありがとう	242	1位	ありがとう	47	1位	ありがとう	195
2位	生まれてきてくれてありがとう	96	2位	頑張ってる	26	2位	生まれてきてくれてありがとう	86
3位	好き・大好き	71	3位	愛してる	13	3位	好き・大好き	66
4位	幸せになって	68	4位	幸せになって	10	4位	幸せになって	58
5位	頑張ってる	40		生まれてきてくれてありがとう	10	5位	愛してる	25
6位	愛してる	38	6位	後はよろしく・家族をよろしく	9	6位	楽しんでね	23
7位	楽しんでね	29	7位	楽しんでね	6	7位	ごめんなさい	22
8位	ごめんなさい	27		仲良く過ごしてね	6	8位	仲良く過ごしてね	21
	仲良く過ごしてね	27	9位	ごめんなさい	5	9位	幸せでした	15
10位	後はよろしく・家族をよろしく	21		好き・大好き	5	10位	頑張ってる	14
				好きに生きて・やりたいことをして	5			

■親に届けるメッセージ

全体[n=206]			男性[n=51]			女性[n=155]		
順位	言葉	名	順位	言葉	名	順位	言葉	名
1位	ありがとう	121	1位	ありがとう	37	1位	ありがとう	84
2位	産んでくれてありがとう	18	2位	育ててくれてありがとう	4	2位	産んでくれてありがとう	18
3位	育ててくれてありがとう	14	3位	ごめんなさい	2		ごめんなさい	10
						3位	育ててくれてありがとう	10

◆生まれ変わりについて

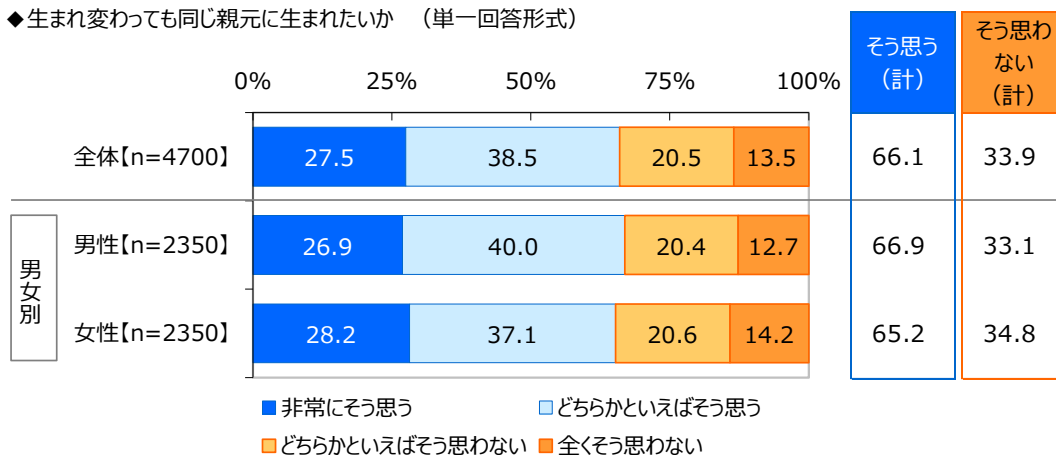
・「生まれ変わっても同じ親元に生まれたい」66%

・「生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたい」男性の70%、女性の62%

生まれ変わりについて質問しました。

全回答者（4,700名）に、生まれ変わっても同じ親元に生まれたいか聞いたところ、「非常にそう思う」が27.5%、「どちらかといえばそう思う」が38.5%で、合計した『そう思う（計）』は66.1%となりました。

◆生まれ変わっても同じ親元に生まれたいか（単一回答形式）



男女・都道府県別にみると、生まれ変わっても同じ親元に生まれたい人の割合は、男性では1位が長崎県と宮崎県（いずれも78.0%）、3位が福岡県（76.0%）、女性では1位が滋賀県（84.0%）、2位が長野県（82.0%）、3位が栃木県と愛媛県（いずれも80.0%）でした。

◆生まれ変わっても同じ親元に生まれたいと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

位	都道府県	%	位	都道府県	%	位	都道府県	%	位	都道府県	%
1位	長崎県	78.0	12位	岩手県	70.0	16位	鹿児島県	68.0	32位	広島県	64.0
	宮崎県	78.0		新潟県	70.0		北海道	66.0		宮城県	62.0
3位	福岡県	76.0		兵庫県	70.0		秋田県	66.0	37位	長野県	62.0
4位	神奈川県	74.0		沖縄県	70.0		山形県	66.0		静岡県	62.0
	香川県	74.0		千葉県	68.0	25位	東京都	66.0		滋賀県	62.0
	佐賀県	74.0		福井県	68.0		石川県	66.0		福島県	60.0
	埼玉県	72.0		山梨県	68.0		鳥取県	66.0	41位	茨城県	60.0
	東京都府	72.0	16位	三重県	68.0		岡山県	66.0		栃木県	60.0
7位	徳島県	72.0		大阪府	68.0		富山県	64.0		島根県	60.0
	愛媛県	72.0		奈良県	68.0	32位	岐阜県	64.0	45位	青森県	58.0
	大分県	72.0		山口県	68.0		愛知県	64.0	46位	熊本県	56.0
				高知県	68.0		和歌山県	64.0	47位	群馬県	54.0

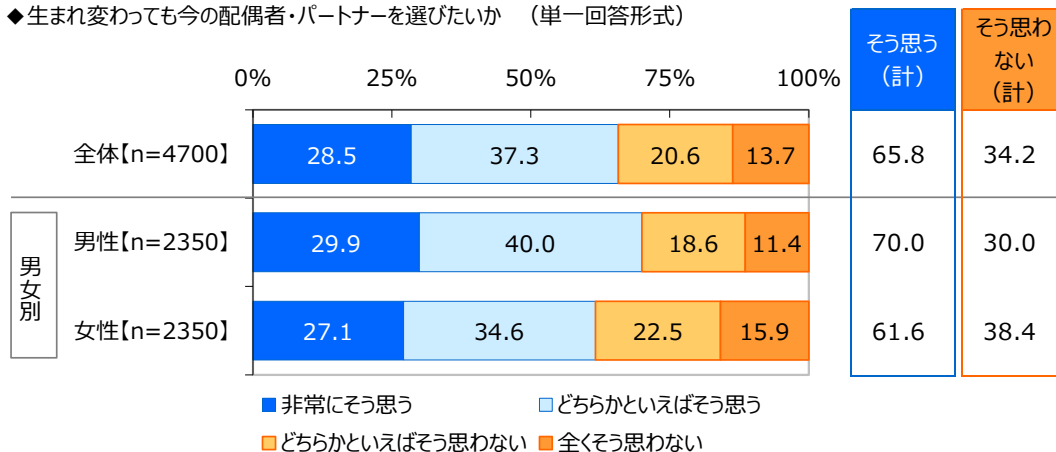
女性・各都道府県【n=50】

位	都道府県	%	位	都道府県	%	位	都道府県	%	位	都道府県	%
1位	滋賀県	84.0	11位	大阪府	70.0	24位	岩手県	64.0		千葉県	58.0
2位	長野県	82.0		徳島県	70.0		兵庫県	64.0	36位	神奈川県	58.0
3位	栃木県	80.0		熊本県	70.0		北海道	62.0		新潟県	58.0
	愛媛県	80.0		福井県	68.0		福島県	62.0		福岡県	58.0
5位	高知県	78.0		京都府	68.0		茨城県	62.0		佐賀県	58.0
6位	宮城県	76.0	15位	大分県	68.0	26位	石川県	62.0		群馬県	56.0
	愛知県	76.0		鹿児島県	68.0		岐阜県	62.0	41位	山梨県	56.0
	富山県	72.0		沖縄県	68.0		鳥取県	62.0		奈良県	56.0
8位	山口県	72.0		山形県	66.0		宮崎県	62.0		島根県	56.0
	香川県	72.0	20位	和歌山県	66.0		秋田県	60.0	45位	静岡県	54.0
	東京都	70.0		岡山県	66.0	33位	三重県	60.0	46位	埼玉県	52.0
				広島県	66.0		長崎県	60.0	47位	青森県	48.0

生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたいか聞いたところ、「非常にそう思う」が 28.5%、「どちらかといえばそう思う」が 37.3%で、合計した『そう思う（計）』は 65.8%となりました。

男女別にみると、生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたい人の割合は、男性では 70.0%と、女性（61.6%）と比べて 8.4 ポイント高くなりました。

◆生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたいか（単一回答形式）



男女・都道府県別にみると、生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたい人の割合は、男性では 1 位が沖縄県（88.0%）、2 位が長崎県（80.0%）、3 位が愛知県（78.0%）、女性では 1 位が栃木県（74.0%）、2 位が長野県・愛知県・山口県・香川県・高知県（いずれも 70.0%）でした。

◆生まれ変わっても今の配偶者・パートナーを選びたいと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	沖縄県	88.0	8位	兵庫県	74.0	21位	岡山県	70.0	36位	群馬県	66.0
2位	長崎県	80.0		奈良県	74.0		北海道	68.0		神奈川県	66.0
3位	愛知県	78.0		愛媛県	74.0		宮城県	68.0		大分県	66.0
4位	岩手県	76.0	16位	福岡県	74.0	25位	福島県	68.0	39位	島根県	64.0
	東京都	76.0		山梨県	72.0		茨城県	68.0		徳島県	64.0
	三重県	76.0		大阪府	72.0		埼玉県	68.0		高知県	64.0
8位	佐賀県	76.0	21位	広島県	72.0	25位	富山県	68.0	44位	熊本県	64.0
	秋田県	74.0		山口県	72.0		福井県	68.0		鹿児島県	64.0
	千葉県	74.0		宮崎県	72.0		岐阜県	68.0		栃木県	60.0
	新潟県	74.0		青森県	70.0		滋賀県	68.0		石川県	60.0
	京都府	74.0		山形県	70.0		和歌山県	68.0		長野県	60.0
				鳥取県	70.0		香川県	68.0		静岡県	60.0

女性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	栃木県	74.0	12位	宮城県	66.0	20位	奈良県	62.0	35位	三重県	56.0
2位	長野県	70.0		神奈川県	66.0		鳥取県	62.0		京都府	56.0
	愛知県	70.0		兵庫県	66.0		熊本県	62.0		和歌山県	56.0
7位	山口県	70.0		島根県	66.0		大分県	62.0	岡山県	56.0	
	香川県	70.0		愛媛県	66.0		沖縄県	62.0	青森県	54.0	
	高知県	70.0		長崎県	66.0		千葉県	60.0	山形県	54.0	
7位	秋田県	68.0	20位	宮崎県	66.0	29位	石川県	60.0	40位	埼玉県	54.0
	東京都	68.0		鹿児島県	66.0		広島県	60.0		群馬県	52.0
	滋賀県	68.0		北海道	62.0		茨城県	58.0		静岡県	52.0
	大阪府	68.0		岩手県	62.0		岐阜県	58.0		新潟県	50.0
	徳島県	68.0		富山県	62.0		福岡県	58.0		福井県	50.0
				山梨県	62.0	福島県	56.0		佐賀県	46.0	

◆“家族愛”とエンタメ

・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人 1位「ヒロミさん」、女性芸能人 1位「辻希美さん」

・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手 1位「大谷翔平さん」、女性選手 1位「浜口京子さん」

全回答者（4,700名）に、“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物について質問しました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【芸能人】についてみると、男性芸能人では1位「ヒロミさん」（344名）、2位「杉浦太陽さん」（230名）、3位「木村拓哉さん」「反町隆史さん」（いずれも112名）、女性芸能人では1位「辻希美さん」（404名）、2位「北斗晶さん」（180名）、3位「藤本美貴さん」（159名）となりました。杉浦太陽さん&辻希美さん夫妻は夫婦そろってTOP3に挙がる結果となりました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【スポーツ選手（引退した人含む）】についてみると、男性スポーツ選手では2024年2月に結婚を発表した「大谷翔平さん」（714名）がダントツとなり、2位「長友佑都さん」（184名）、3位「イチローさん」（99名）と続きました。女性スポーツ選手では1位「浜口京子さん」（177名）、2位「阿部詩さん」（126名）、3位「谷亮子さん」（105名）となりました。

◆“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物（各自由回答形式）

全体【n=4700】 ※上位10位までを表示

男性芸能人			男性スポーツ選手（引退した人含む）		
順位	名前	名	順位	名前	名
1位	ヒロミ	344	1位	大谷翔平	714
2位	杉浦太陽	230	2位	長友佑都	184
3位	木村拓哉	112	3位	イチロー	99
	反町隆史	112	4位	阿部一二三	93
5位	高橋英樹	110	5位	ダルビッシュ有	41
6位	つるの剛士	97	6位	西田有志	40
7位	所ジョージ	73	7位	大久保嘉人	37
8位	庄司智春	72	8位	佐々木健介	34
9位	DAIGO	71	9位	アニマル浜口	27
10位	福山雅治 / 三浦友和	46	10位	三浦知良	25

女性芸能人			女性スポーツ選手（引退した人含む）		
順位	名前	名	順位	名前	名
1位	辻希美	404	1位	浜口京子	177
2位	北斗晶	180	2位	阿部詩	126
3位	藤本美貴	159	3位	谷亮子	105
4位	北川景子	78	4位	北斗晶	90
5位	松嶋菜々子	74	5位	古賀紗理那	82
6位	松本伊代	73	6位	澤穂希	76
7位	杏	50	7位	浅田真央	53
8位	工藤静香	45	8位	大谷真美子	41
9位	上戸彩	41	9位	吉田沙保里	38
10位	榎原郁恵	37	10位	潮田玲子 / 丸山桂里奈	23

“家族愛が強い”というイメージに合う【芸能人】を前回の調査結果とあわせてみると、男性芸能人の1位「ヒロミさん」、2位「杉浦太陽さん」、女性芸能人の1位「辻希美さん」、2位「北斗晶さん」は、昨年と同じ結果でした。男性芸能人3位の反町隆史さんは、2023年10位圏外（13位）から大幅に順位が上昇しました。

◆“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物（各自由回答形式）
 全体【n=4700】 ※上位10位までを表示

2023年調査			2024年調査		
	男性芸能人	名		男性芸能人	名
1位	ヒロミ	702	1位	ヒロミ	344
2位	杉浦太陽	285	2位	杉浦太陽	230
3位	DAIGO	188	3位	木村拓哉	112
4位	つるの剛士	163		反町隆史	112
5位	木村拓哉	108	5位	高橋英樹	110
6位	高橋英樹	97	6位	つるの剛士	97
7位	佐々木健介	74	7位	所ジョージ	73
8位	所ジョージ	63	8位	庄司智春	72
9位	藤岡弘、	62	9位	DAIGO	71
10位	庄司智春	60	10位	福山雅治 / 三浦友和	46
	女性芸能人	名		女性芸能人	名
1位	辻希美	574	1位	辻希美	404
2位	北斗晶	270	2位	北斗晶	180
3位	松本伊代	205	3位	藤本美貴	159
4位	北川景子	202	4位	北川景子	78
5位	藤本美貴	117	5位	松嶋菜々子	74
6位	工藤静香	69	6位	松本伊代	73
7位	榎原郁恵	65	7位	杏	50
8位	杏	62	8位	工藤静香	45
9位	松嶋菜々子	48	9位	上戸彩	41
10位	仲里依紗	34	10位	榎原郁恵	37

**・家族愛を感じる映画・ドラマ・小説・漫画 「ひとつ屋根の下」がダントツ、2位「海のはじまり」3位「サザエさん」
20代の1位は「コウノドリ」、30代の1位は「クレヨンしんちゃん」**

家族愛を感じる映画・ドラマ・小説・漫画を聞いたところ、1990年代に放送されたテレビドラマである「ひとつ屋根の下」(209名)がダントツでした。江口洋介さん演じる“あんちゃん”の家族愛あふれる行動や、“そこに愛はあるのかい?”の決めゼリフに、胸を熱くした人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「海のはじまり」(72名)、3位「サザエさん」(71名)、4位「北の国から」(64名)、5位「男はつらいよ」(38名)となりました。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「ひとつ屋根の下」(順に82名、127名)、男性では2位「北の国から」(30名)、3位「サザエさん」(29名)、女性では2位「海のはじまり」(59名)、3位「サザエさん」(42名)となりました。

年代別にみると、20代の1位は「コウノドリ」(21名)、30代の1位は「クレヨンしんちゃん」(18名)、40代以上の1位は「ひとつ屋根の下」(40代90名、50代71名、60代32名)でした。

◆家族愛を感じる映画・ドラマ・小説・漫画 (自由回答形式)

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
名	順位	名	名	順位	名	名	順位	名
ひとつ屋根の下	209	ひとつ屋根の下	82	1位	ひとつ屋根の下	127	1位	ひとつ屋根の下
海のはじまり	72	北の国から	30	2位	北の国から	59	2位	海のはじまり
サザエさん	71	サザエさん	29	3位	サザエさん	42	3位	サザエさん
北の国から	64	男はつらいよ	24	4位	北の国から	34	4位	北の国から
男はつらいよ	38	クレヨンしんちゃん	15	5位	コウノドリ	32	5位	コウノドリ
クレヨンしんちゃん	34	万引き家族	14	6位	鬼滅の刃	23	6位	鬼滅の刃
鬼滅の刃	33	海のはじまり	13		1リットルの涙	23		1リットルの涙
コウノドリ	33	ホーム・アローン	12	となりのトトロ	23	となりのトトロ		
万引き家族	30	鬼滅の刃	10	9位	クレヨンしんちゃん	19	9位	クレヨンしんちゃん
1リットルの涙	30	そして父になる	8	10位	ちゅうさん	18	10位	ちゅうさん
となりのトトロ	30	ALWAYS 三丁目の夕日	8					
		アルマゲドン	8					

20代【n=940】			30代【n=940】		
名	順位	名	名	順位	名
コウノドリ	21	1位	クレヨンしんちゃん	18	1位
海のはじまり	12	2位	海のはじまり	16	2位
クレヨンしんちゃん	10	3位	ひとつ屋根の下	14	3位
1リットルの涙	10	4位	いま、会いにゆきます	11	4位
マルモのおきて	8	5位	1リットルの涙	10	5位

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
名	順位	名	名	順位	名	名	順位	名
ひとつ屋根の下	90	1位	ひとつ屋根の下	71	1位	ひとつ屋根の下	32	1位
サザエさん	19	2位	北の国から	20	2位	北の国から	30	2位
鬼滅の刃	11	3位	サザエさん	19	3位	男はつらいよ	27	3位
北の国から	10	4位	海のはじまり	18	4位	サザエさん	22	4位
となりのトトロ	9	5位	虎に翼 / 鬼滅の刃 / 万引き家族 / そして父になる / 渡る世間は鬼ばかり	8	5位	海のはじまり	18	5位

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、
内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 家族愛に関する調査 2024
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女
- ◆調査期間 : 2024年10月3日～10月15日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から、各都道府県で男女・年代が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■ 会社概要 ■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563